

脳卒中発症登録集計結果

脳卒中の治療を目的に入院した患者が、退院(転院、死亡含む)した場合に、県内の医療機関から提供された発症登録の集計結果は次のとおりである。

ここでは脳卒中発症登録票(様式1号)に基づき提供された脳卒中患者情報のうち、平成28年1月1日から平成28年12月31日までに医療機関を退院したものについて扱う。(本文、表中の率【%】については小数点以下第2位を四捨五入した値、図中の率【%】については小数点以下第1位を四捨五入した値を示した。)

【平成28年の主な状況】

- 届出は合計4,795件、32医療機関からの届出があった。
- 脳卒中の分類別では、脳梗塞が3,200件(66.7%)、脳内出血が1,035件(21.6%)、くも膜下出血が317件(6.6%)、その他の脳卒中が243件(5.1%)であった。
- 再発者は1,100件で全体の約1/5(22.9%)を占めた。
- 発症時の合併症は高血圧が最も多く男性が62.0%、女性が64.0%であった。

1 医療機関所在地別報告状況

協力医療機関の所在地により区分した場合の報告状況である。

協力医療機関所在地区分	協力医療機関数	発症登録件数	うち死亡件数
宇都宮市	6	1,467	145
県西健康福祉センター	5	432	59
県東健康福祉センター	3	366	37
県南健康福祉センター	9	972	99
県北健康福祉センター	7	951	134
安足健康福祉センター	2	607	64
合計	32	4,795	538
機能別医療機関 急性期	6	1,190	143
機能別医療機関 急性期及び回復期	12	3,076	331
機能別医療機関 回復期	11	436	54
それ以外の医療機関	3	93	10

2 患者住所地別報告状況

登録された患者の住所により区分した場合の報告状況である。

患者住所地区分	協力医療機関数	発症登録件数	うち死亡件数
宇都宮市	22	1,106	122
県西健康福祉センター	15	552	61
県東健康福祉センター	12	404	41
県南健康福祉センター	22	971	103
県北健康福祉センター	21	1,187	153
安足健康福祉センター	7	575	58
合計	—	4,795	538

3 病型別・初発再発別登録状況

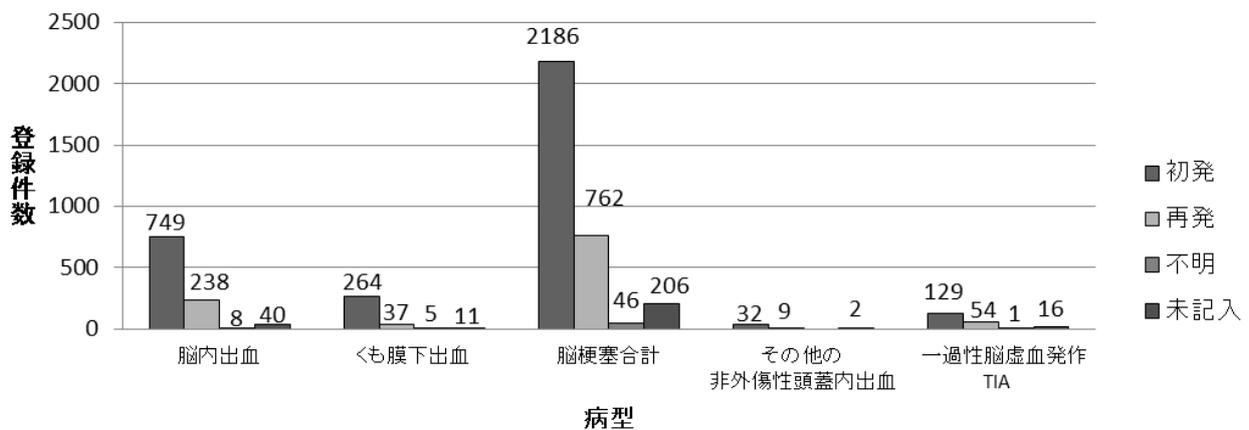
病型別の登録状況では、脳梗塞合計が最も多く3,200件(66.7%)、次いで脳内出血1,035件(21.6%)、くも膜下出血317件(6.6%)であった。初発再発別の登録状況では、初発の診断が3,360件(70.1%)、再発が1,100件(22.9%)、不明が60件(1.3%)、未記入が275件(5.7%)であった(表1・図1)。

病型別の再発率は、脳梗塞合計で23.8%(762/3,200件)、脳内出血で23.0%(238/1,035件)、くも膜下出血で11.7%(37/317件)であった。

表1 病型別・初発再発別登録件数

診断病型	初発	再発	不明	未記入	総計
脳内出血	749	238	8	40	1035
くも膜下出血	264	37	5	11	317
脳梗塞合計	2186	762	46	206	3200
脳梗塞-アテローム血栓性梗塞	905	312	16	37	1270
脳梗塞-心原性脳梗塞	525	192	8	25	750
脳梗塞-ラクナ梗塞	404	146	9	39	598
脳梗塞-その他の脳梗塞	229	67	6	88	390
脳梗塞-病型不明の脳梗塞	63	25	6	1	95
脳梗塞-未記入	60	20	1	16	97
その他の非外傷性頭蓋内出血	32	9		2	43
一過性脳虚血発作 TIA	129	54	1	16	200
総計	3360	1100	60	275	4795

図1 病型別・初発再発別登録件数



4 性別・年齢階級別登録状況

1) 性別・年齢階級別登録状況

性別では、男は2,662件(55.5%)、女は2,133件(44.5%)で、男が多かった。

年齢階級別では、男は70歳代が765件(28.7%)、女は80歳代が826件(38.7%)と最も多かった(図2・3・4)。

図2 性別・年齢階級別登録件数

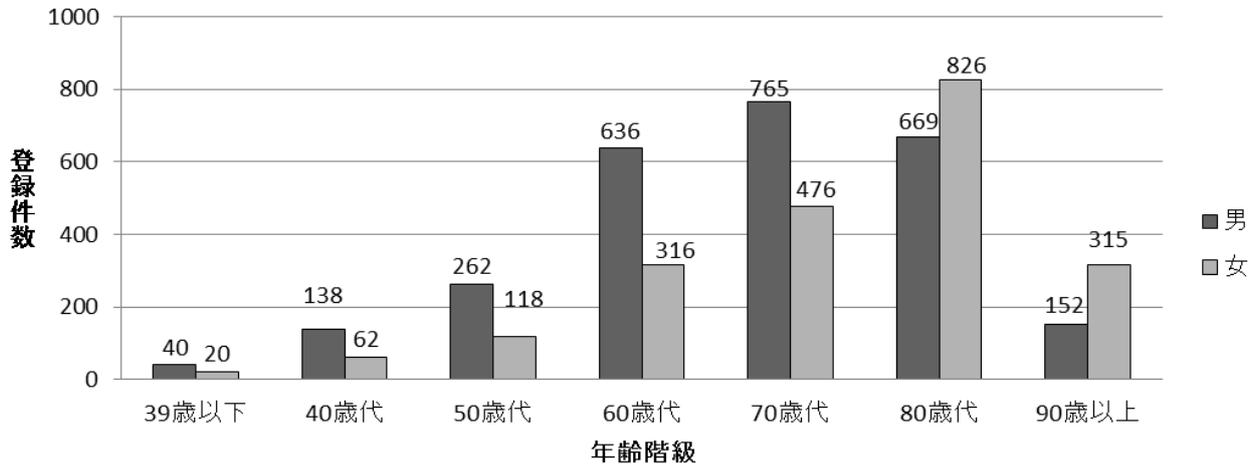


図3 年齢階級別の登録者の構成 男

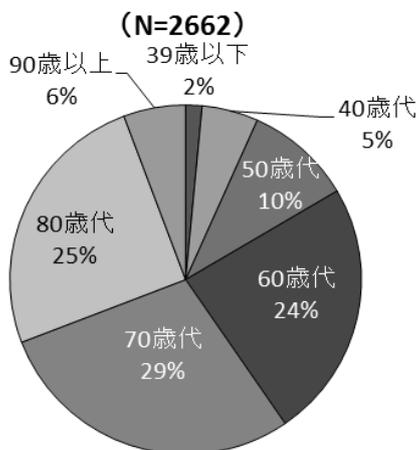
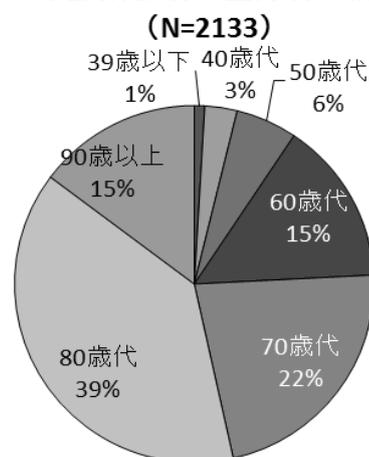


図4 年齢階級別の登録者の構成 女



2) 病型別・初発再発別・性別・年齢階級別登録状況

(1) 脳内出血

初発は、男409件、女340件で、男は60歳代が119件(29.1%)、女は80歳代が135件(39.7%)と最も多かった(図5)。

再発は、男119件、女119件で、男女ともに80歳代が男39件(32.8%)、女55件(46.2%)と最も多かった(図6)。

図5 性別・年齢階級別登録件数(脳内出血 初発)

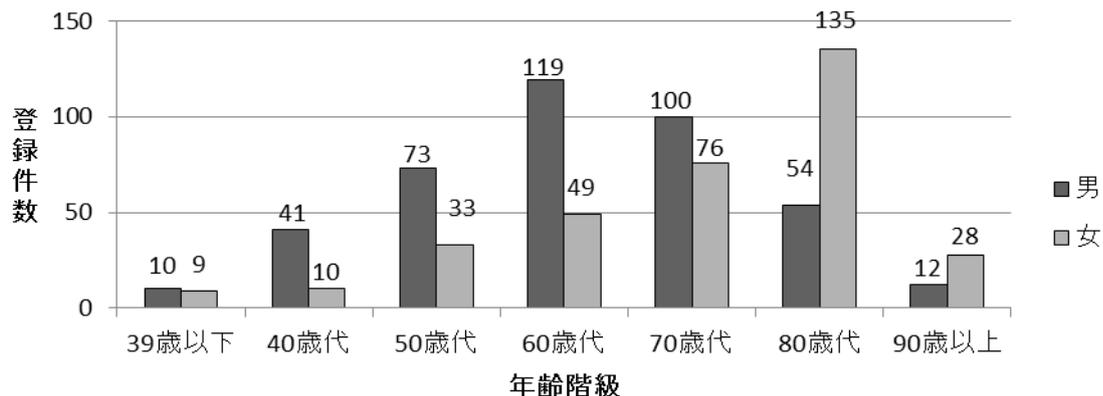
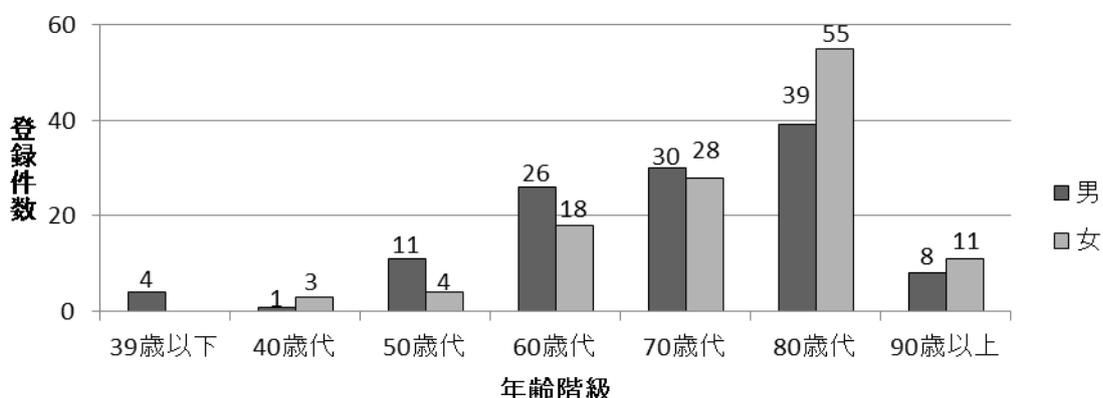


図6 性別・年齢階級別登録件数(脳内出血 再発)



(2)くも膜下出血

初発は、男は86件、女は178件で、男女ともに60歳代が男26件(30.2%)、女49件(27.5%)と最も多かった(図7)。

再発は、男は9件、女は28件で、全体的に報告数が少なく、男女とも80歳代が最も多かった(図8)。

図7 性別・年齢階級別登録件数(くも膜下出血 初発)

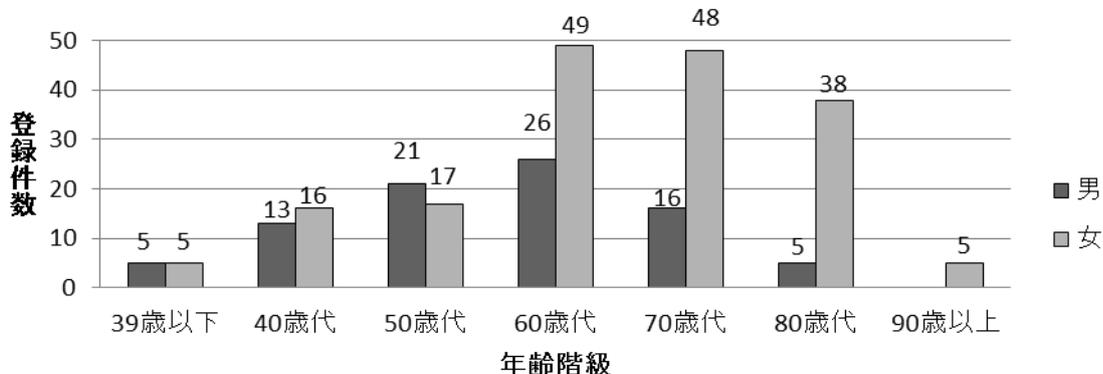
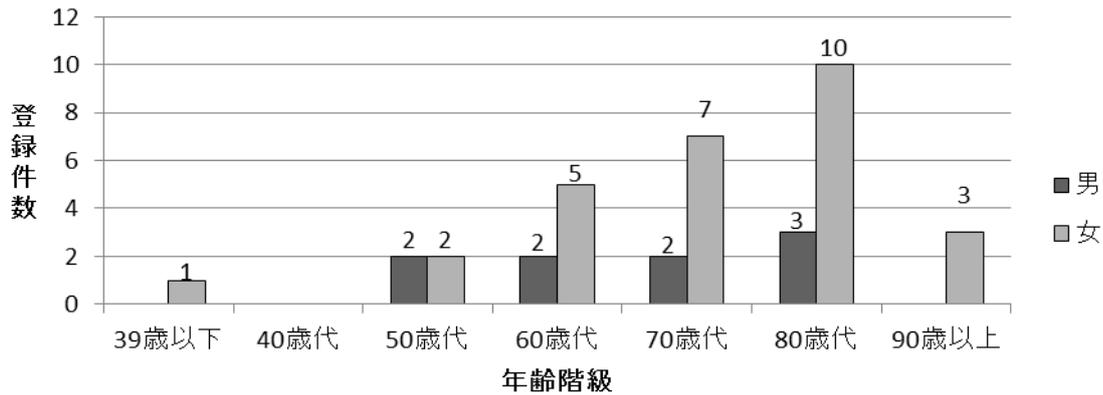


図8 性別・年齢階級別登録件数(くも膜下出血 再発)



(3)脳梗塞

①脳梗塞合計*

初発は、男は1,264件、女は922件で、男は70歳代が363件(28.7%)、女は80歳代が345件(37.4%)と最も多かった(図9)。

再発は、男は449件、女は313件で、男は70歳代が156件(34.7%)、女は80歳代が149件(47.6%)と最も多かった(図10)。

*アテローム血栓性梗塞、心原性脳塞栓、ラクナ梗塞、その他の脳梗塞、病型不明の脳梗塞、未記入の合計

図9 性別・年齢階級別登録件数(脳梗塞合計 初発)

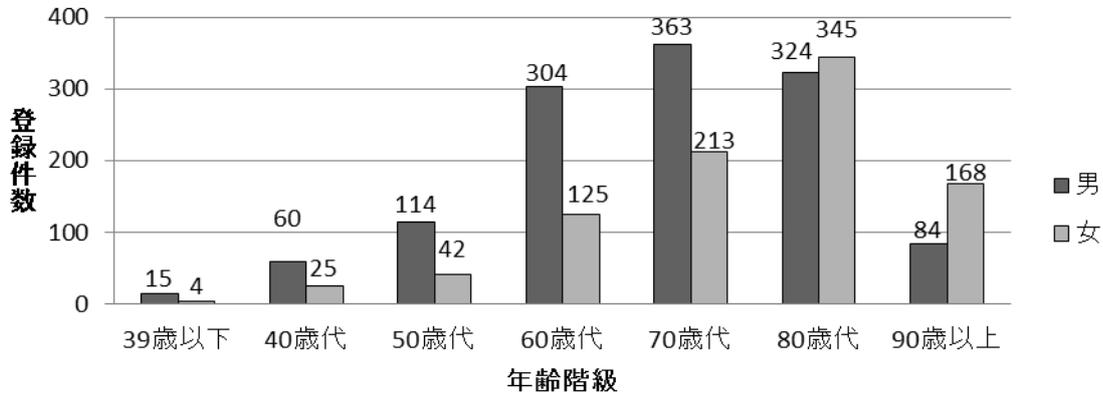
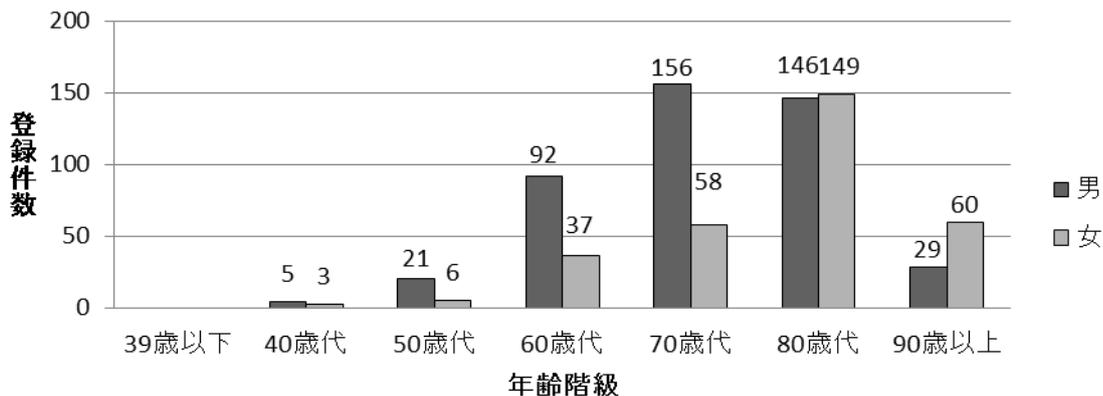


図10 性別・年齢階級別登録件数(脳梗塞合計 再発)



②アテローム血栓性梗塞

初発は、男は554件、女は351件で、男は70歳代が175件(31.6%)、女は80歳代が114件(32.5%)と最も多かった(図11)。

再発は、男は193件、女は119件で、男は70歳代が65件(33.7%)、女は80歳代が54件(45.4%)と最も多かった(図12)。

図11 性別・年齢階級別登録件数(アテローム血栓性梗塞 初発)

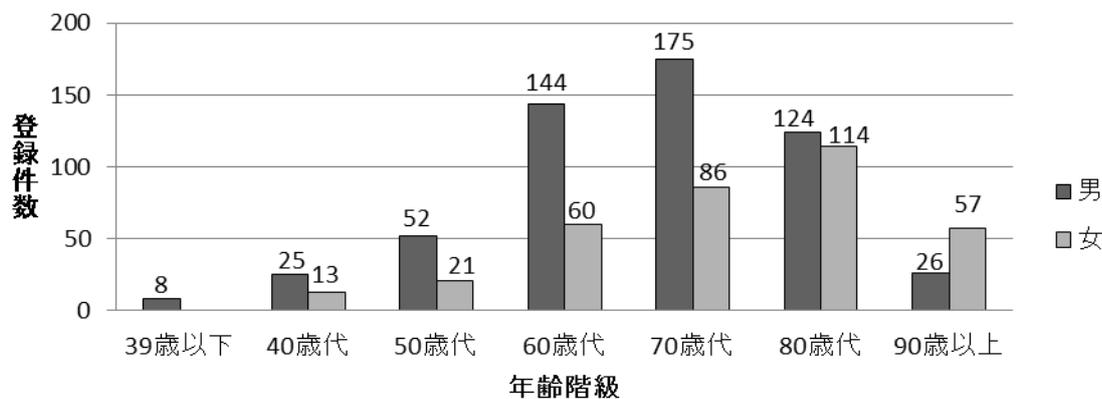
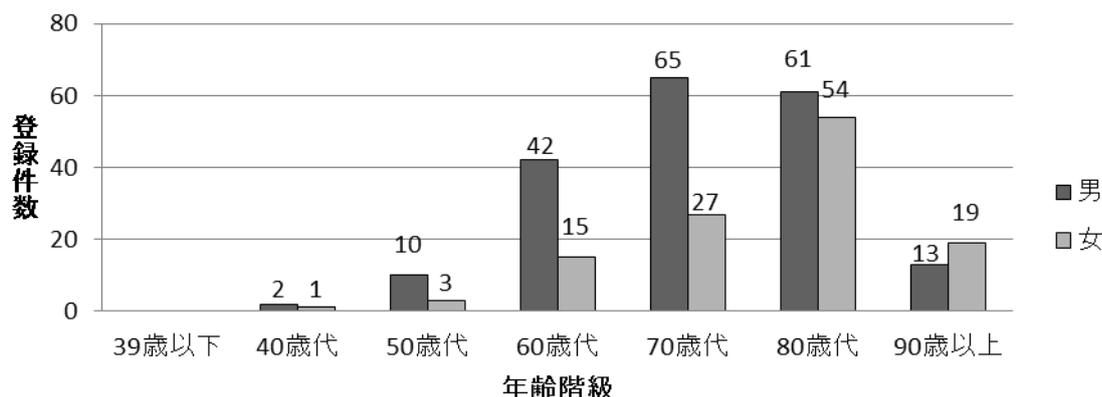


図12 性別・年齢階級別登録件数(アテローム血栓性梗塞 再発)



③心原性脳梗塞

初発は、男は275件、女は250件で、男女とも80歳代が男92件(33.5%)、女111件(44.4%)と最も多かった(図13)。

再発は、男は99件、女は93件で、男女とも80歳代が男43件(43.4%)、女47件(50.5%)と最も多かった(図14)。

図13 性別・年齢階級別登録件数(心原性脳梗塞 初発)

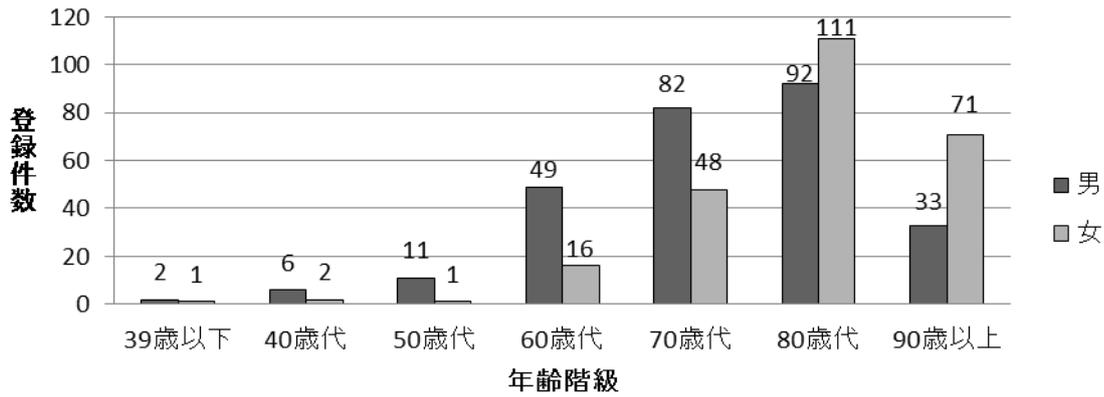
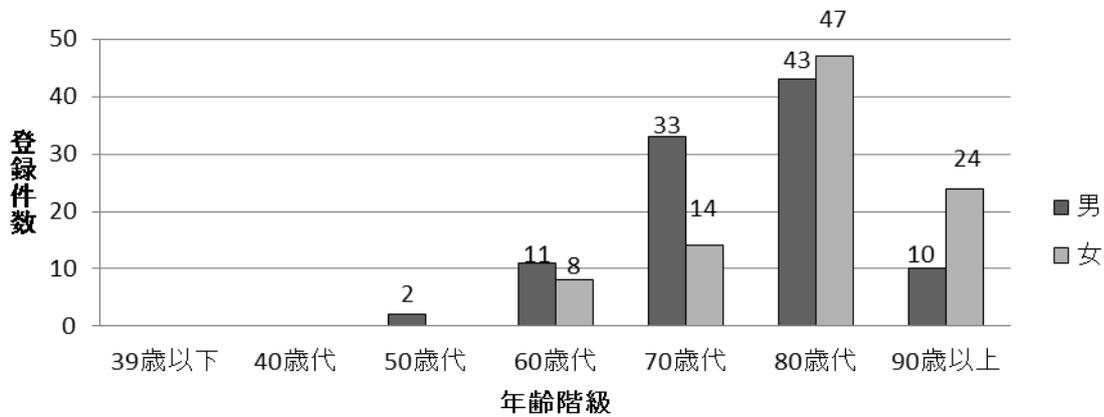


図14 性別・年齢階級別登録件数(心原性脳梗塞 再発)



④ラクナ梗塞

初発は、男は227件、女は177件で、男は60歳代が66件(29.1%)、女は80歳代が62件(35.0%)と最も多かった(図15)。

再発は、男は93件、女は53件で、男は70歳代が40件(43.0%)、女は80歳代が23件(43.4%)と最も多かった(図16)。

図15 性別・年齢階級別登録件数(ラクナ梗塞 初発)

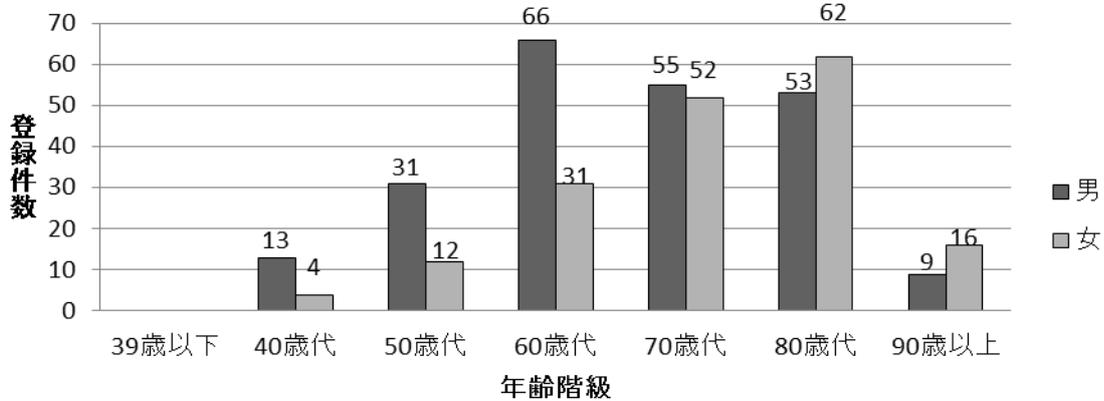
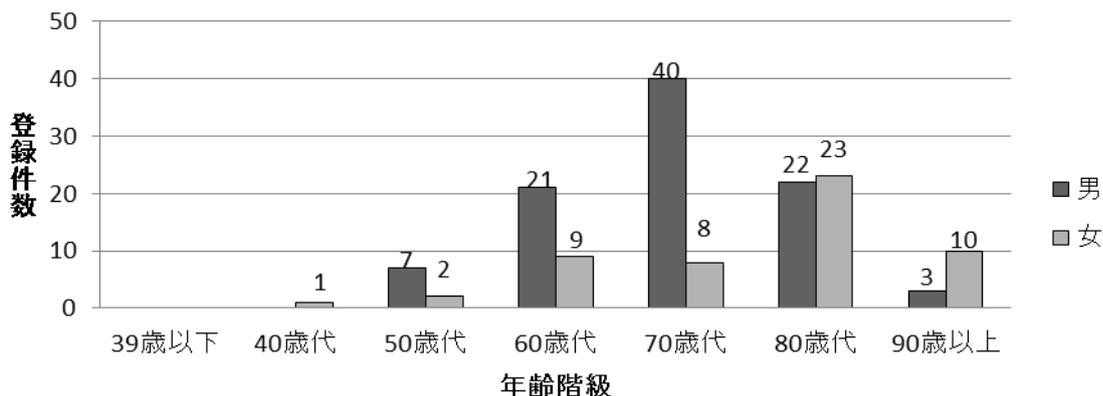


図16 性別・年齢階級別登録件数(ラクナ梗塞 再発)



(4) 一過性脳虚血発作 TIA

初発は、男は 77 件、女は 52 件で、男女とも 60 歳代が男 26 件(33.8%)、女 18 件(34.6%)と最も多かった(図 17)。

再発は、男は 40 件、女は 14 件で、男女とも 80 歳代が男 18 件(45.0%)、女 8 件(57.1%)と最も多かった(図 18)。

図17 性別・年齢階級別登録件数(一過性脳虚血発作 TIA 初発)

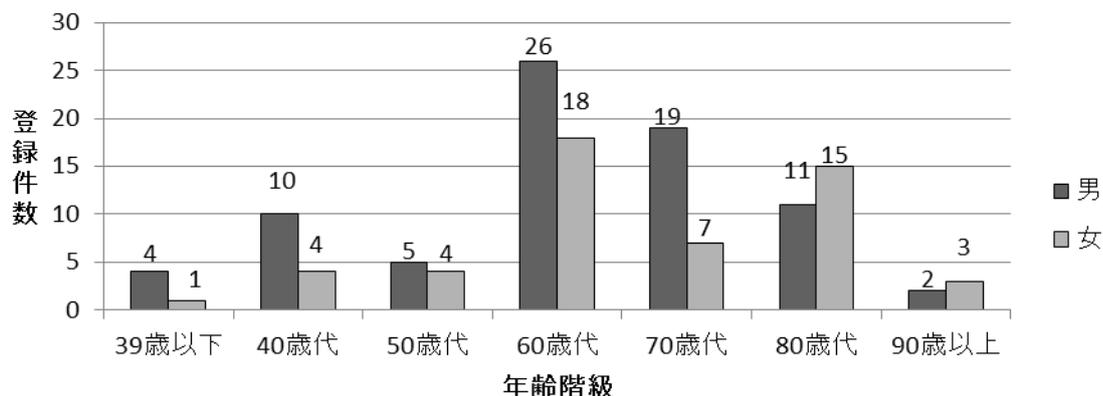
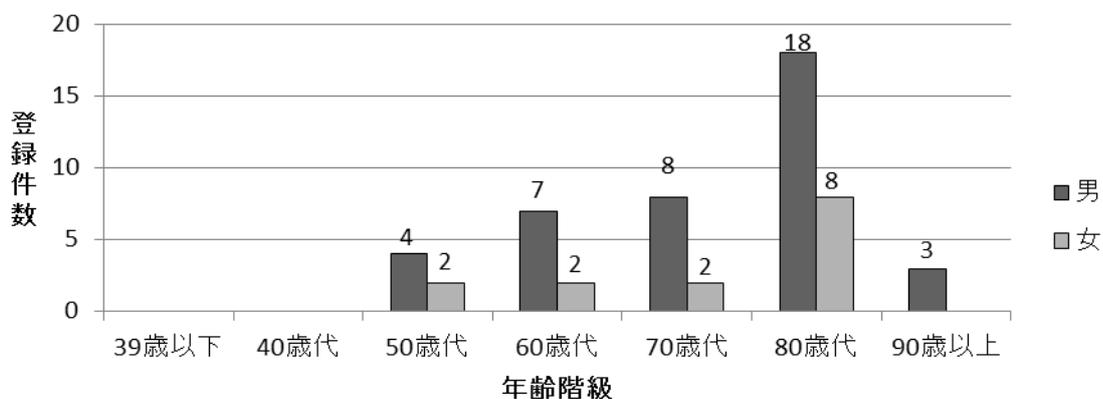


図18 性別・年齢階級別登録件数(一過性脳虚血発作 TIA 再発)



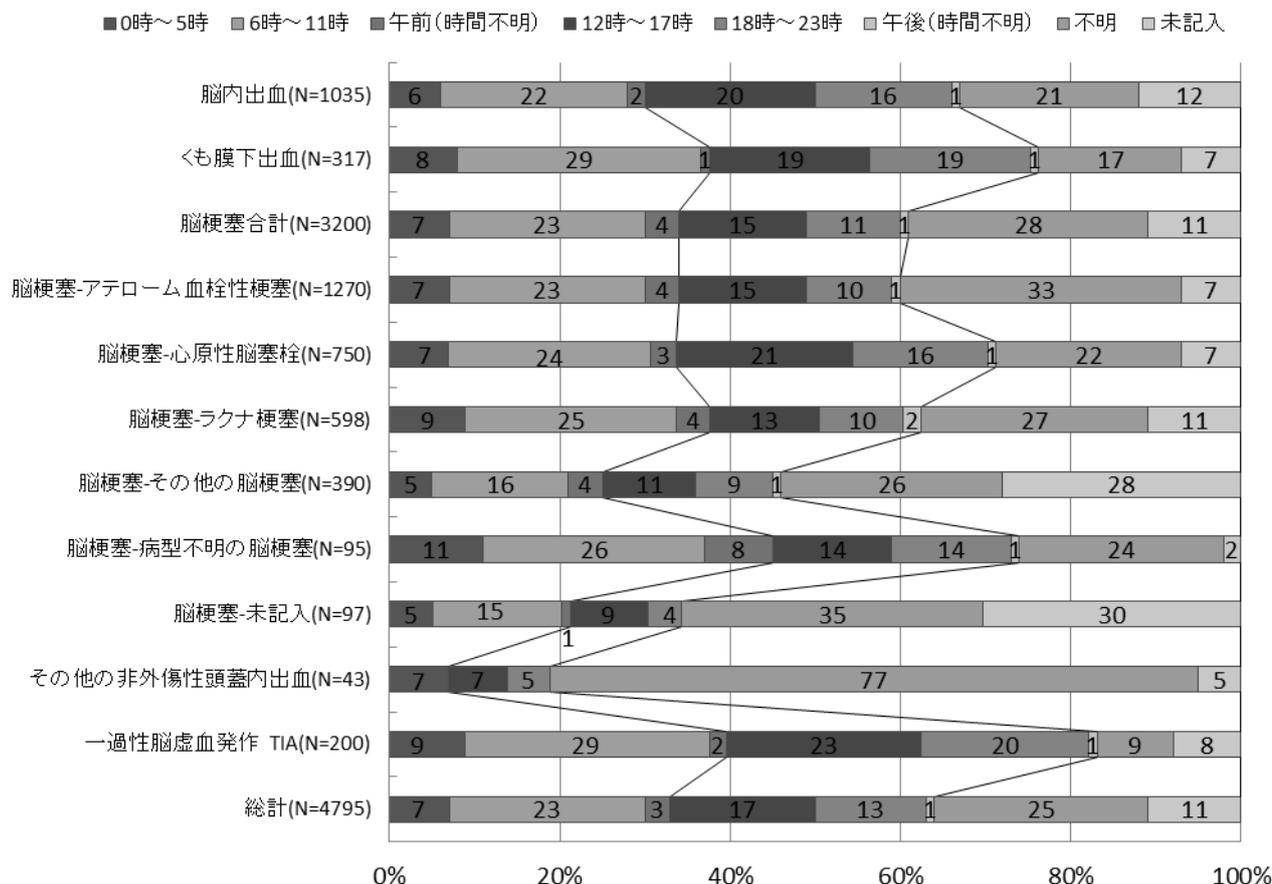
3) 病型別・発症時間別・発症場所別登録状況

(1) 発症時間

発症時間は、脳内出血の発症は午前では317件(30.6%)、午後では375件(36.2%)だった。脳梗塞合計*での午前発症は1,073件(33.5%)、午後発症は884件(27.6%)だった。一過性虚血発作TIAでの午前発症は、79件(39.5%)、午後発症は87件(43.5%)であった。(図19)。

*アテローム血栓性梗塞、心原性脳塞栓、ラクナ梗塞、その他の脳梗塞、病型不明の脳梗塞、未記入の合計

図19 病型別・発症時間



(2) 発症場所

全ての病型において、居室内での発症が一番多かった(表2)。

表2 病型別・発症場所

病型	登録数	屋外	居室内	風呂場 (脱衣場)	風呂場 (浴室内)	トイレ	廊下	院内	その他	不明	未記入
脳内出血	1035	107 (10.3%)	585 (56.5%)	12 (1.2%)	18 (1.7%)	30 (2.9%)	4 (0.4%)	16 (1.5%)	50 (4.8%)	92 (8.9%)	121 (11.7%)
くも膜下出血	317	30 (9.5%)	179 (56.5%)	2 (0.6%)	8 (2.5%)	23 (7.3%)	3 (0.9%)	2 (0.6%)	19 (6.0%)	30 (9.5%)	21 (6.6%)
脳梗塞合計	3200	171 (5.3%)	1889 (59.0%)	11 (0.3%)	20 (0.6%)	60 (1.9%)	15 (0.5%)	127 (4.0%)	101 (3.2%)	459 (14.3%)	347 (10.8%)
脳梗塞-アテローム血栓性梗塞	1270	72 (5.7%)	767 (60.4%)	4 (0.3%)	7 (0.6%)	22 (1.7%)	6 (0.5%)	53 (4.2%)	40 (3.1%)	214 (16.9%)	85 (6.7%)
脳梗塞-心原性脳塞栓	750	47 (6.3%)	467 (62.3%)	4 (0.5%)	8 (1.1%)	15 (2.0%)	8 (1.1%)	41 (5.5%)	30 (4.0%)	73 (9.7%)	57 (7.6%)
脳梗塞-ラクナ梗塞	598	27 (4.5%)	377 (63.0%)	2 (0.3%)	2 (0.3%)	12 (2.0%)	1 (0.2%)	11 (1.8%)	12 (2.0%)	91 (15.2%)	63 (10.5%)
脳梗塞-その他の脳梗塞	390	15 (3.8%)	184 (47.2%)	(0.0%)	2 (0.5%)	5 (1.3%)	(0.0%)	7 (1.8%)	17 (4.4%)	49 (12.6%)	111 (28.5%)
脳梗塞-病型不明の脳梗塞	95	7 (7.4%)	54 (56.8%)	1 (1.1%)	1 (1.1%)	5 (5.3%)	(0.0%)	12 (12.6%)	2 (2.1%)	11 (11.6%)	2 (2.1%)
脳梗塞-未記入	97	3 (3.1%)	40 (41.2%)	(0.0%)	(0.0%)	1 (1.0%)	(0.0%)	3 (3.1%)	(0.0%)	21 (21.6%)	29 (29.9%)
その他の非外傷性頭蓋内出血	43	1 (2.3%)	13 (30.2%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	2 (4.7%)	1 (2.3%)	24 (55.8%)	2 (4.7%)
一過性脳虚血発作 TIA	200	13 (6.5%)	133 (66.5%)	4 (2.0%)	2 (1.0%)	5 (2.5%)	(0.0%)	6 (3.0%)	10 (5.0%)	11 (5.5%)	16 (8.0%)
総計	4795	322 (6.7%)	2799 (58.4%)	29 (0.6%)	48 (1.0%)	118 (2.5%)	22 (0.5%)	153 (3.2%)	181 (3.8%)	616 (12.8%)	507 (10.6%)

5 患者の受診状況

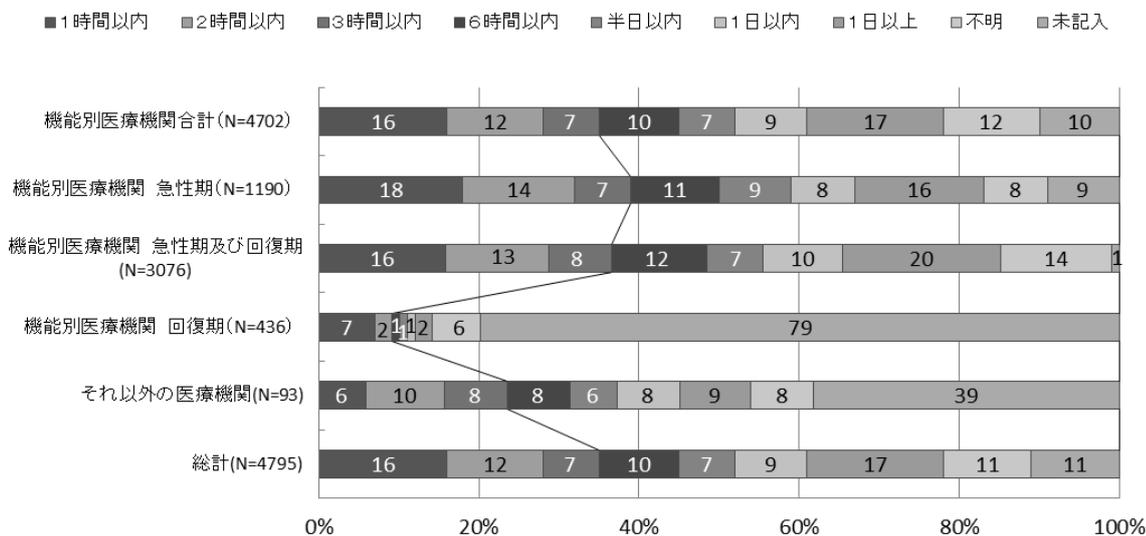
1) 受診までの経過時間

(1) 受診までの経過時間（機能別医療機関別）

受診までの経過時間が3時間以内の割合は、全医療機関で34.6%、脳卒中の機能別医療機関では34.8%、それ以外の医療機関では23.7%だった。機能別医療機関のうち、急性期治療を担う医療機関*では37.5%だった（図20）。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計

図20 受診までの経過時間(機能別医療機関別)

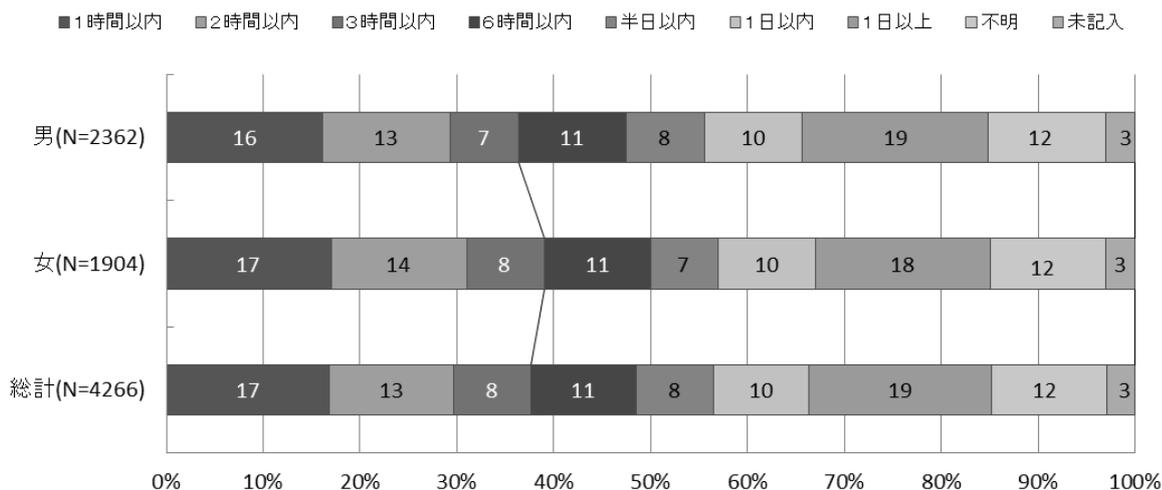


(2) 急性期治療を担う医療機関*における受診までの経過時間（性別）

受診までの経過時間が3時間以内の割合は、男35.9%、女39.4%であった（図21）。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計

図21 受診までの経過時間(性別)



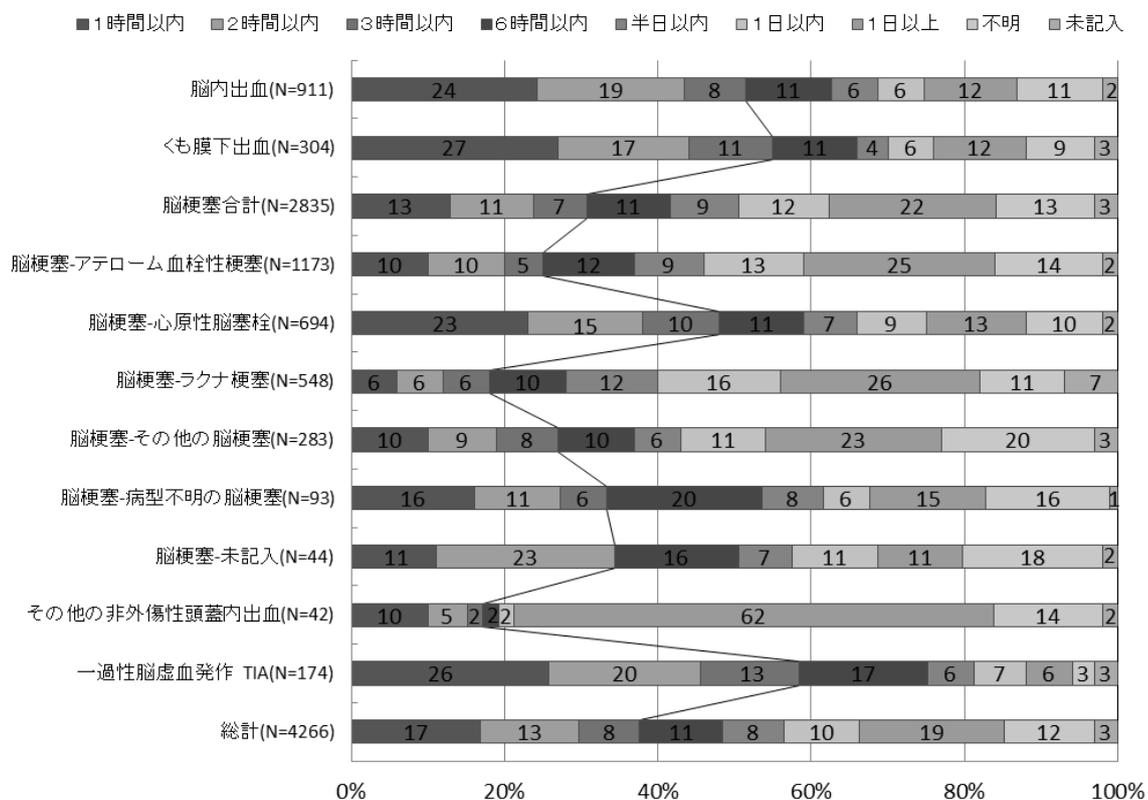
(3) 急性期治療を担う医療機関*における受診までの経過時間（病型別）

受診までの経過時間が3時間以内の割合は、一過性脳虚血発作 TIA で58.6%と高く、次いでも膜下出血では55.6%であった。一方、脳梗塞合計**では30.1%であり、他の病型に比べ発症からの経過時間が長い傾向がみられた（図22）。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計

**アテローム血栓性梗塞、心原性脳塞栓、ラクナ梗塞、その他の脳梗塞、病型不明の脳梗塞、未記入の合計

図22 受診までの経過時間(病型別)

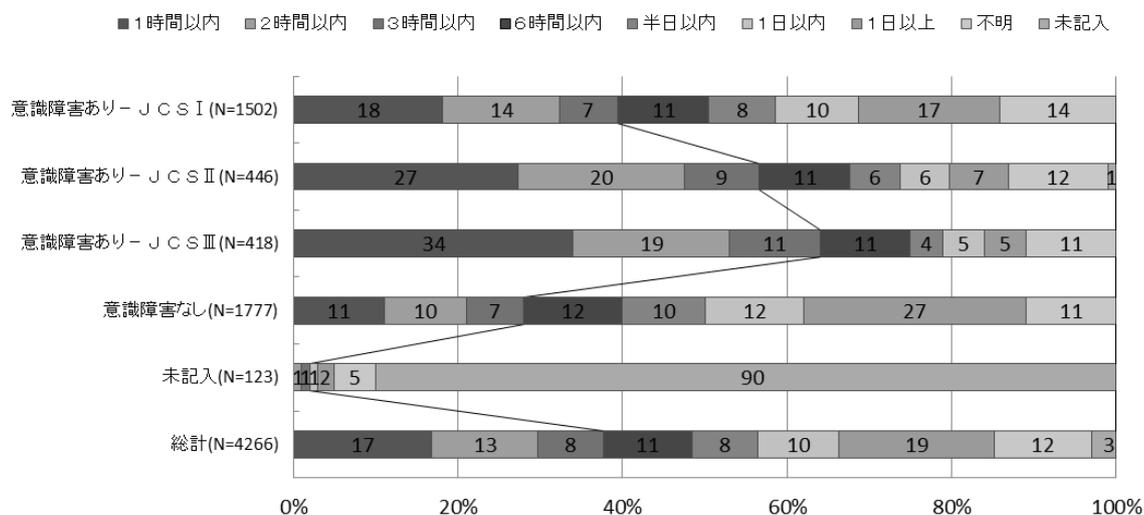


(4) 急性期治療を担う医療機関*における受診までの経過時間 (意識障害の程度別)

受診までの経過時間が3時間以内の割合は、意識障害が重度である JCS-Ⅲ(刺激しても覚醒しない状態)が64.6%であり、次いで JCS-II (刺激すると覚醒する状態、刺激をやめると眠り込む状態)が57.0%、JCS-I (刺激しないでも覚醒している状態)が38.5%であり、意識障害が重度であるほど受診までの経過時間は短くなる傾向にあった。(図23)。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計

図23 受診までの経過時間(意識障害の程度別)



2) 受診の手段

(1) 受診の手段（機能別医療機関別）

全医療機関における受診の手段は、救急車（消防）50.6%、自家用車等34.1%の順に多かった。急性期治療を担う医療機関*では、救急車（消防）による受診が55.5%であった（表3）。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計

表3 受診の手段(機能別医療機関別)

機能別医療機関	登録数	救急車(消防)	救急車(他医療機関)	自家用車等	その他	未記入
機能別医療機関合計	4702	2389 (50.8%)	59 (1.3%)	1618 (34.4%)	175 (3.7%)	461 (9.8%)
機能別医療機関 急性期	1190	680 (57.1%)	11 (0.9%)	352 (29.6%)	43 (3.6%)	104 (8.7%)
機能別医療機関 急性期及び回復期	3076	1687 (54.8%)	31 (1.0%)	1237 (40.2%)	109 (3.5%)	12 (0.4%)
機能別医療機関 回復期	436	22 (5.0%)	17 (3.9%)	29 (6.7%)	23 (5.3%)	345 (79.1%)
それ以外の医療機関	93	38 (40.9%)	(0.0%)	18 (19.4%)	1 (1.1%)	36 (38.7%)
総計	4795	2427 (50.6%)	59 (1.2%)	1636 (34.1%)	176 (3.7%)	497 (10.4%)

(2) 急性期治療を担う医療機関*における受診の手段（病型別）

救急車（消防）による受診が、脳内出血では73.3%、くも膜下出血が78.0%と7割以上を占めた。脳梗塞合計では、救急車（消防）による受診が48.0%で、自家用車等による受診が44.4%であった。脳梗塞の細分類別に見ると、ラクナ梗塞では58.9%、アテローム血栓性梗塞では48.1%が自家用車等で受診していた（表4）。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計

表4 受診の手段(病型別)

診断病型	登録数	救急車(消防)	救急車(他医療機関)	自家用車等	その他	未記入
脳内出血	911	668 (73.3%)	13 (1.4%)	189 (20.7%)	23 (2.5%)	18 (2.0%)
くも膜下出血	304	237 (78.0%)	7 (2.3%)	41 (13.5%)	9 (3.0%)	10 (3.3%)
脳梗塞合計	2835	1360 (48.0%)	20 (0.7%)	1259 (44.4%)	114 (4.0%)	82 (2.9%)
脳梗塞-アテローム血栓性梗塞	1173	534 (45.5%)	7 (0.6%)	564 (48.1%)	48 (4.1%)	20 (1.7%)
脳梗塞-心原性脳梗塞	694	457 (65.9%)	4 (0.6%)	186 (26.8%)	33 (4.8%)	14 (2.0%)
脳梗塞-ラクナ梗塞	548	173 (31.6%)	3 (0.5%)	323 (58.9%)	11 (2.0%)	38 (6.9%)
脳梗塞-その他の脳梗塞	283	130 (45.9%)	6 (2.1%)	131 (46.3%)	8 (2.8%)	8 (2.8%)
脳梗塞-病型不明の脳梗塞	93	52 (55.9%)	(0.0%)	28 (30.1%)	12 (12.9%)	1 (1.1%)
脳梗塞-未記入	44	14 (31.8%)	(0.0%)	27 (61.4%)	2 (4.5%)	1 (2.3%)
その他の非外傷性頭蓋内出血	42	7 (16.7%)	1 (2.4%)	31 (73.8%)	2 (4.8%)	1 (2.4%)
一過性脳虚血発作 TIA	174	95 (54.6%)	1 (0.6%)	69 (39.7%)	4 (2.3%)	5 (2.9%)
総計	4266	2367 (55.5%)	42 (1.0%)	1589 (37.2%)	152 (3.6%)	116 (2.7%)

(3) 急性期治療を担う医療機関*における受診の手段（意識障害の程度別）

救急車（消防）による受診は、意識障害が重度であるJCS-Ⅲが89.2%と最も多く、意識障害なしでは、57.5%が自家用車等で受診していた（表5）。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計

表5 受診の手段(意識障害の程度別)

意識障害	登録数	救急車(消防)	救急車(他医療機関)	自家用車等	その他	未記入
意識障害あり-JCS I	1502	933 (62.1%)	15 (1.0%)	505 (33.6%)	45 (3.0%)	4 (0.3%)
意識障害あり-JCS II	446	369 (82.7%)	5 (1.1%)	47 (10.5%)	25 (5.6%)	(0.0%)
意識障害あり-JCS III	418	373 (89.2%)	6 (1.4%)	11 (2.6%)	28 (6.7%)	(0.0%)
意識障害なし	1777	690 (38.8%)	16 (0.9%)	1021 (57.5%)	49 (2.8%)	1 (0.1%)
未記入	123	2 (1.6%)	(0.0%)	5 (4.1%)	5 (4.1%)	111 (90.2%)
総計	4266	2367 (55.5%)	42 (1.0%)	1589 (37.2%)	152 (3.6%)	116 (2.7%)

3) 機能別医療機関別（病型別）

病型別に機能別医療機関の登録の状況を見ると、急性期治療を担う医療機関*からの登録は、脳内出血88.0%、くも膜下出血95.9%、脳梗塞合計**88.6%で多くを占めた（表6）。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計

**アテローム血栓性梗塞、心原性脳塞栓、ラクナ梗塞、その他の脳梗塞、病型不明の脳梗塞、未記入の合計

表6 機能別医療機関別(病型別)

診断病型	登録数	脳卒中中の機能別医療機関合計	急性期	急性期及び回復期	回復期	それ以外の医療機関
脳内出血	1035	1019 (98.5%)	278 (26.9%)	633 (61.2%)	108 (10.4%)	16 (1.5%)
くも膜下出血	317	316 (99.7%)	140 (44.2%)	164 (51.7%)	12 (3.8%)	1 (0.3%)
脳梗塞合計	3200	3134 (97.9%)	719 (22.5%)	2116 (66.1%)	299 (9.3%)	66 (2.1%)
脳梗塞-アテローム血栓性梗塞	1270	1244 (98.0%)	292 (23.0%)	881 (69.4%)	71 (5.6%)	26 (2.0%)
脳梗塞-心原性脳梗塞	750	740 (98.7%)	201 (26.8%)	493 (65.7%)	46 (6.1%)	10 (1.3%)
脳梗塞-ラクナ梗塞	598	576 (96.3%)	142 (23.7%)	406 (67.9%)	28 (4.7%)	22 (3.7%)
脳梗塞-その他の脳梗塞	390	382 (97.9%)	65 (16.7%)	218 (55.9%)	99 (25.4%)	8 (2.1%)
脳梗塞-病型不明の脳梗塞	95	95 (100.0%)	14 (14.7%)	79 (83.2%)	2 (2.1%)	(0.0%)
脳梗塞-未記入	97	97 (100.0%)	5 (5.2%)	39 (40.2%)	53 (54.6%)	(0.0%)
その他の非外傷性頭蓋内出血	43	42 (97.7%)	2 (4.7%)	40 (93.0%)	(0.0%)	1 (2.3%)
一過性脳虚血発作 TIA	200	191 (95.5%)	51 (25.5%)	123 (61.5%)	17 (8.5%)	9 (4.5%)
総計	4795	4702 (98.1%)	1190 (24.8%)	3076 (64.2%)	436 (9.1%)	93 (1.9%)

4) 診断に用いた検査 (複数回答)

(1) 診断に用いた検査 (機能別医療機関別)

急性期治療を担う医療機関*では、MRI・CTが一番多かった(表7)。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計

表7 診断に用いた検査 (機能別医療機関別)

機能別医療機関	登録数	MRI・CT	MRA・CTA	心電図	超音波検査	血管撮影	その他	未記入
機能別医療機関合計	4702	4102 (87.2%)	1868 (39.7%)	1409 (30.0%)	658 (14.0%)	75 (1.6%)	452 (9.6%)	500 (10.6%)
機能別医療機関 急性期	1190	1013 (85.1%)	621 (52.2%)	526 (44.2%)	373 (31.3%)	63 (5.3%)	443 (37.2%)	136 (11.4%)
機能別医療機関 急性期及び回復期	3076	3003 (97.6%)	1246 (40.5%)	868 (28.2%)	285 (9.3%)	12 (0.4%)	7 (0.2%)	18 (0.6%)
機能別医療機関 回復期	436	86 (19.7%)	1 (0.2%)	15 (3.4%)	(0.0%)	(0.0%)	2 (0.5%)	346 (79.4%)
それ以外の医療機関	93	57 (61.3%)	3 (3.2%)	1 (1.1%)	1 (1.1%)	(0.0%)	(0.0%)	36 (38.7%)
総計	4795	4159 (86.7%)	1871 (39.0%)	1410 (29.4%)	659 (13.7%)	75 (1.6%)	452 (9.4%)	536 (11.2%)

(2) 急性期治療を担う医療機関*における診断に用いた検査 (病型別)

脳内出血、脳梗塞合計**及び一過性脳虚血発作 TIA では MRI・CT が 9 割以上と多かった(表8)。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計

**アテローム血栓性梗塞、心原性脳梗塞、ラクナ梗塞、その他の脳梗塞、病型不明の脳梗塞、未記入の合計

表8 診断に用いた検査(病型別)

診断病型	登録数	MRI・CT	MRA・CTA	心電図	超音波検査	血管撮影	その他	未記入
脳内出血	911	866 (95.1%)	214 (23.5%)	291 (31.9%)	34 (3.7%)	12 (1.3%)	94 (10.3%)	29 (3.2%)
くも膜下出血	304	265 (87.2%)	127 (41.8%)	75 (24.7%)	22 (7.2%)	53 (17.4%)	34 (11.2%)	11 (3.6%)
脳梗塞合計	2835	2681 (94.6%)	1408 (49.7%)	925 (32.6%)	554 (19.5%)	9 (0.3%)	292 (10.3%)	107 (3.8%)
脳梗塞-アテローム血栓性梗塞	1173	1122 (95.7%)	655 (55.8%)	357 (30.4%)	253 (21.6%)	5 (0.4%)	144 (12.3%)	38 (3.2%)
脳梗塞-心原性脳梗塞	694	662 (95.4%)	354 (51.0%)	322 (46.4%)	163 (23.5%)	2 (0.3%)	88 (12.7%)	19 (2.7%)
脳梗塞-ラクナ梗塞	548	489 (89.2%)	249 (45.4%)	165 (30.1%)	100 (18.2%)	(0.0%)	44 (8.0%)	41 (7.5%)
脳梗塞-その他の脳梗塞	283	273 (96.5%)	105 (37.1%)	63 (22.3%)	30 (10.6%)	2 (0.7%)	16 (5.7%)	8 (2.8%)
脳梗塞-病型不明の脳梗塞	93	92 (98.9%)	40 (43.0%)	10 (10.8%)	8 (8.6%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)
脳梗塞-未記入	44	43 (97.7%)	5 (11.4%)	8 (18.2%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	1 (2.3%)
その他の非外傷性頭蓋内出血	42	41 (97.6%)	4 (9.5%)	25 (59.5%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	1 (2.4%)
一過性脳虚血発作 TIA	174	163 (93.7%)	114 (65.5%)	78 (44.8%)	48 (27.6%)	1 (0.6%)	30 (17.2%)	6 (3.4%)
総計	4266	4016 (94.1%)	1867 (43.8%)	1394 (32.7%)	658 (15.4%)	75 (1.8%)	450 (10.5%)	154 (3.6%)

(3) 急性期治療を担う医療機関*における診断に用いた検査 (意識障害の程度別)

重症度に関わらず、MRI・CTが9割以上と多かった。(表9)。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計

表9 診断に用いた検査(意識障害の程度別)

意識障害	登録数	MRI・CT	MRA・CTA	心電図	超音波検査	血管撮影	その他	未記入
意識障害あり-JCS I	1502	1456 (96.9%)	724 (48.2%)	538 (35.8%)	239 (15.9%)	23 (1.5%)	151 (10.1%)	12 (0.8%)
意識障害あり-JCS II	446	434 (97.3%)	190 (42.6%)	151 (33.9%)	63 (14.1%)	16 (3.6%)	64 (14.3%)	2 (0.4%)
意識障害あり-JCS III	418	400 (95.7%)	111 (26.6%)	144 (34.4%)	35 (8.4%)	21 (5.0%)	50 (12.0%)	1 (0.2%)
意識障害なし	1777	1715 (96.5%)	837 (47.1%)	556 (31.3%)	319 (18.0%)	15 (0.8%)	182 (10.2%)	28 (1.6%)
未記入	123	11 (8.9%)	5 (4.1%)	5 (4.1%)	2 (1.6%)	(0.0%)	3 (2.4%)	111 (90.2%)
総計	4266	4016 (94.1%)	1867 (43.8%)	1394 (32.7%)	658 (15.4%)	75 (1.8%)	450 (10.5%)	154 (3.6%)

5) リハビリテーション

(1) リハビリテーションの実施状況（機能別医療機関別）

急性期治療を担う医療機関*における実施率は81.2%と高く、機能別医療機関以外の医療機関では45.2%と低い傾向があった（表10）。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計

表10 リハビリテーションの実施状況（機能別医療機関別）

診断病型	登録数	実施	未実施	未記入	実施率
機能別医療機関合計	4702	3753	724	225	79.8%
機能別医療機関 急性期	1190	943	146	101	79.2%
機能別医療機関 急性期及び回復期	3076	2523	546	7	82.0%
機能別医療機関 回復期	436	287	32	117	65.8%
それ以外の医療機関	93	42	15	36	45.2%
総計	4795	3795	739	261	79.1%

(2) リハビリテーションの実施状況（病型別）

リハビリテーションの実施率は全体の79.1%であった。病型別にみると、脳梗塞合計*が83.6%と実施率が高かった（表11）。

*アテローム血栓性梗塞、心原性脳塞栓、ラクナ梗塞、その他の脳梗塞、病型不明の脳梗塞、未記入の合計

表11 リハビリテーションの実施状況（病型別）

診断病型	登録数	実施	未実施	未記入	実施率
脳内出血	1035	789	210	36	76.2%
くも膜下出血	317	242	69	6	76.3%
脳梗塞合計	3200	2675	324	201	83.6%
脳梗塞-アテローム血栓性梗塞	1270	1131	101	38	89.1%
脳梗塞-心原性脳梗塞	750	636	86	28	84.8%
脳梗塞-ラクナ梗塞	598	481	79	38	80.4%
脳梗塞-その他の脳梗塞	390	278	27	85	71.3%
脳梗塞-病型不明の脳梗塞	95	78	16	1	82.1%
脳梗塞-未記入	97	71	15	11	73.2%
その他の非外傷性頭蓋内出血	43	37	4	2	86.0%
一過性脳虚血発作 TIA	200	52	132	16	26.0%
総計	4795	3795	739	261	79.1%

(3) 急性期治療を担う医療機関*におけるリハビリテーションの実施状況（意識障害の程度別）

リハビリテーションの実施率は、意識障害の程度が軽度である JCS I で91.9%と最も高く、意識障害の程度が重度である JCS III で50.0%と最も低かった（表12）。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計

表12 リハビリテーションの実施状況（意識障害の程度別）

意識障害	登録数	実施	未実施	未記入	実施率
意識障害あり-JCS I	1502	1381	120	1	91.9%
意識障害あり-JCS II	446	392	54		87.9%
意識障害あり-JCS III	418	209	208	1	50.0%
意識障害なし	1777	1465	310	2	82.4%
未記入	123	19		104	15.4%
総計	4266	3466	692	108	81.2%

(4) リハビリテーションの種類別実施状況（病型別）

リハビリテーションの種類別にみた実施状況（複数回答）は、理学療法が3,687件（76.9%）、作業療法が3,072件（64.1%）、言語療法が2,481件（51.7%）であった（表13）。

表13 リハビリテーションの種類別実施状況(病型別)

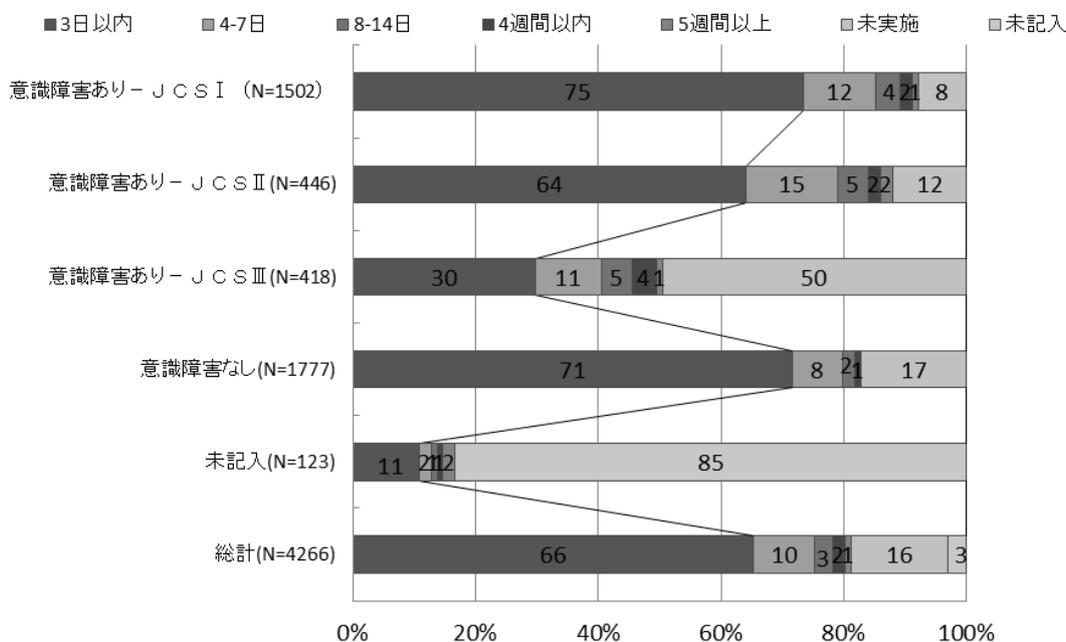
診断病型	登録数	理学療法	作業療法	言語療法
脳内出血	1035	774 (74.8%)	677 (65.4%)	559 (54.0%)
くも膜下出血	317	240 (75.7%)	206 (65.0%)	140 (44.2%)
脳梗塞合計	3200	2589 (80.9%)	2145 (67.0%)	1751 (54.7%)
脳梗塞-アテローム血栓性梗塞	1270	1098 (86.5%)	927 (73.0%)	793 (62.4%)
脳梗塞-心原性脳梗塞	750	618 (82.4%)	511 (68.1%)	432 (57.6%)
脳梗塞-ラクナ梗塞	598	470 (78.6%)	369 (61.7%)	254 (42.5%)
脳梗塞-その他の脳梗塞	390	270 (69.2%)	232 (59.5%)	195 (50.0%)
脳梗塞-病型不明の脳梗塞	95	72 (75.8%)	65 (68.4%)	50 (52.6%)
脳梗塞-未記入	97	61 (62.9%)	41 (42.3%)	27 (27.8%)
その他の非外傷性頭蓋内出血	43	36 (83.7%)	6 (14.0%)	6 (14.0%)
一過性脳虚血発作 TIA	200	48 (24.0%)	38 (19.0%)	25 (12.5%)
総計	4795	3687 (76.9%)	3072 (64.1%)	2481 (51.7%)

(5) 急性期治療を担う医療機関*におけるリハビリテーション開始までの日数

入院日から3日以内のリハビリテーション開始は全体で66.0%であった。意識障害の程度別にみると、3日以内の開始は、意識障害の程度が軽度であるJCSⅠで74.6%を占めた。また、意識障害ありのうち最も重度であるJCSⅢでも、30.1%で3日以内にリハビリテーションが開始されていた（図24）。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計

図24 リハビリテーション開始までの日数(意識障害の程度別)



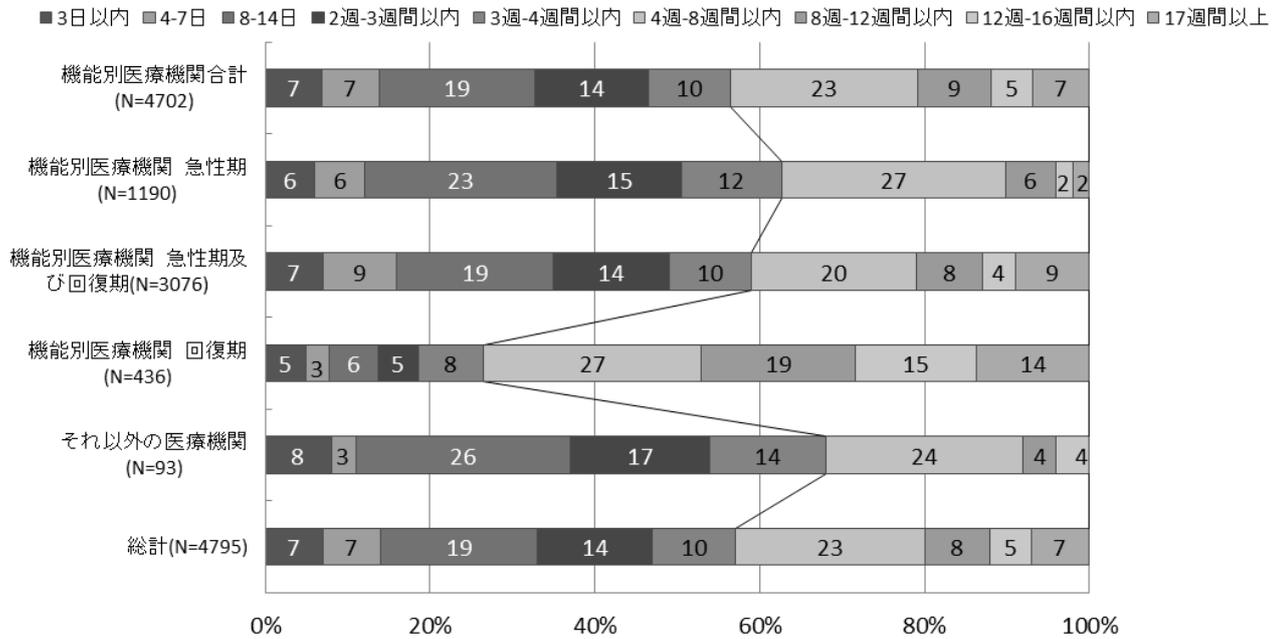
6) 入院から退院までの日数

(1) 入院から退院までの日数（機能別医療機関別）

急性期治療を担う医療機関*では、入院から4週間以内に60.0%が退院していた（図25）。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計

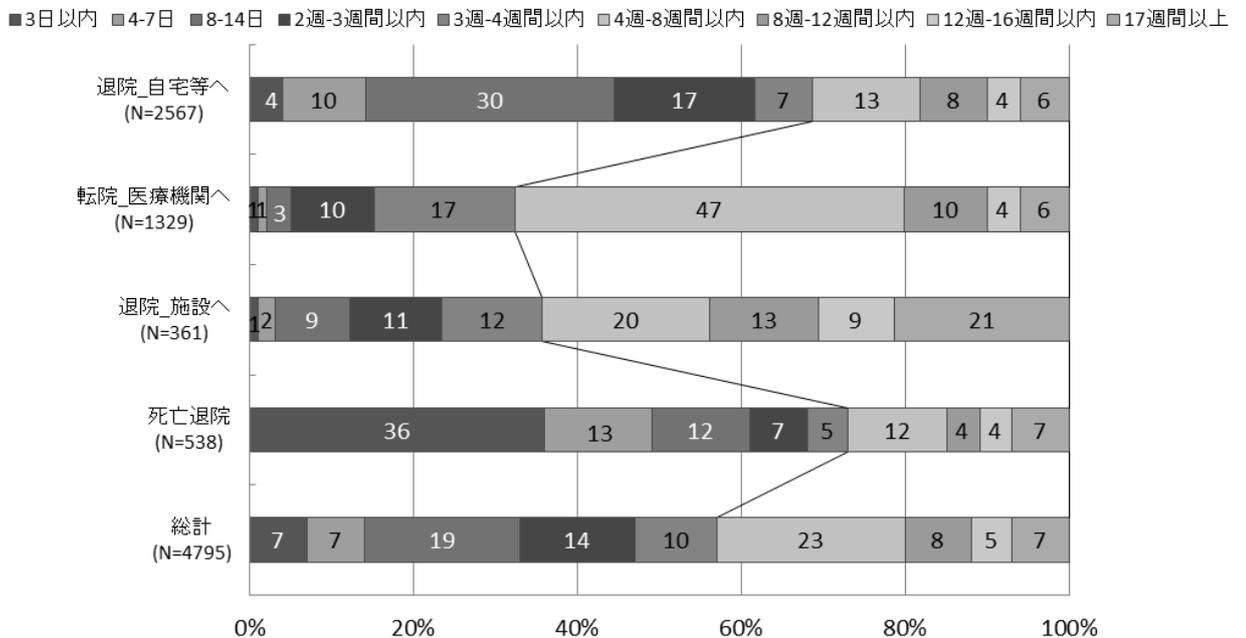
図25 入院から退院までの日数(機能別医療機関別)



(2) 入院から退院までの日数 (退院後の患者転帰別)

自宅等への退院は、入院から4週間以内が68.8%であった。死亡退院は、入院から3日以内が35.5%を占めた。医療機関への転院は、入院から8週間以内が80.1%であった(図26)。

図26 入院から退院までの日数(退院後の患者転帰別)

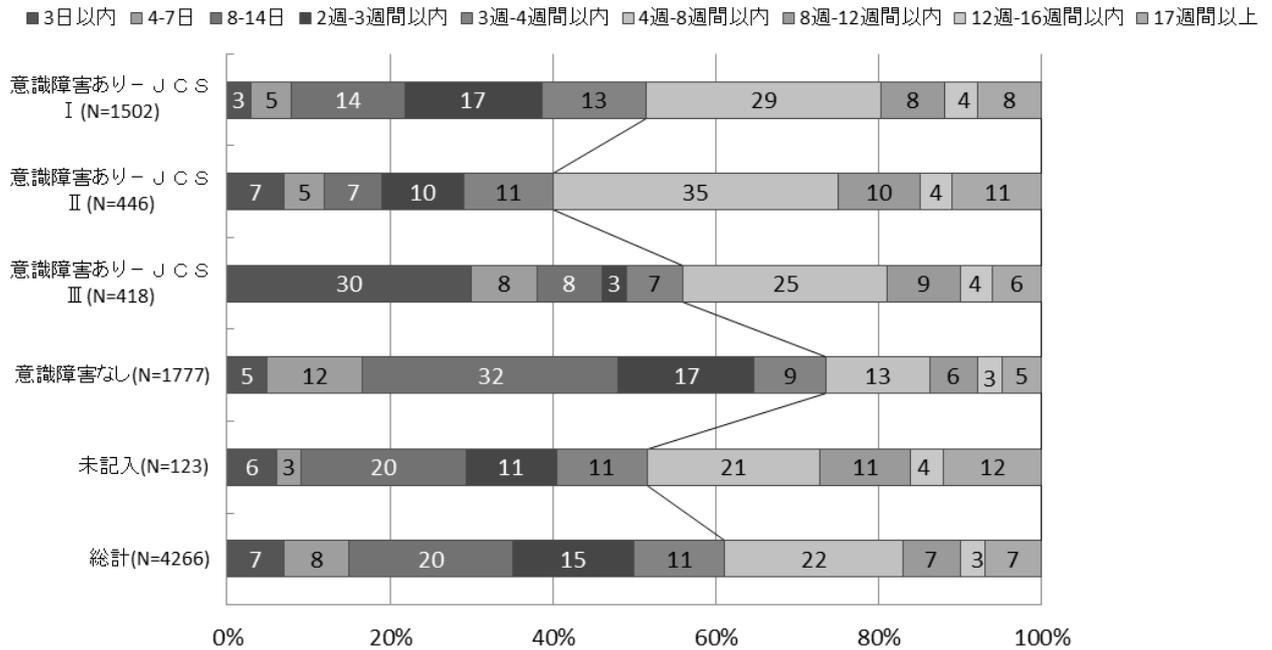


(3) 急性期治療を担う医療機関*における入院から退院までの日数 (意識障害の程度別)

入院から4週間以内の退院が全体で60.0%を占めた。入院から4週間以内の退院を意識障害の有無別にみると、意識障害なしでは74.1%と最も多かった。(図27)。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計

図27 入院から退院までの日数(意識障害の程度別)

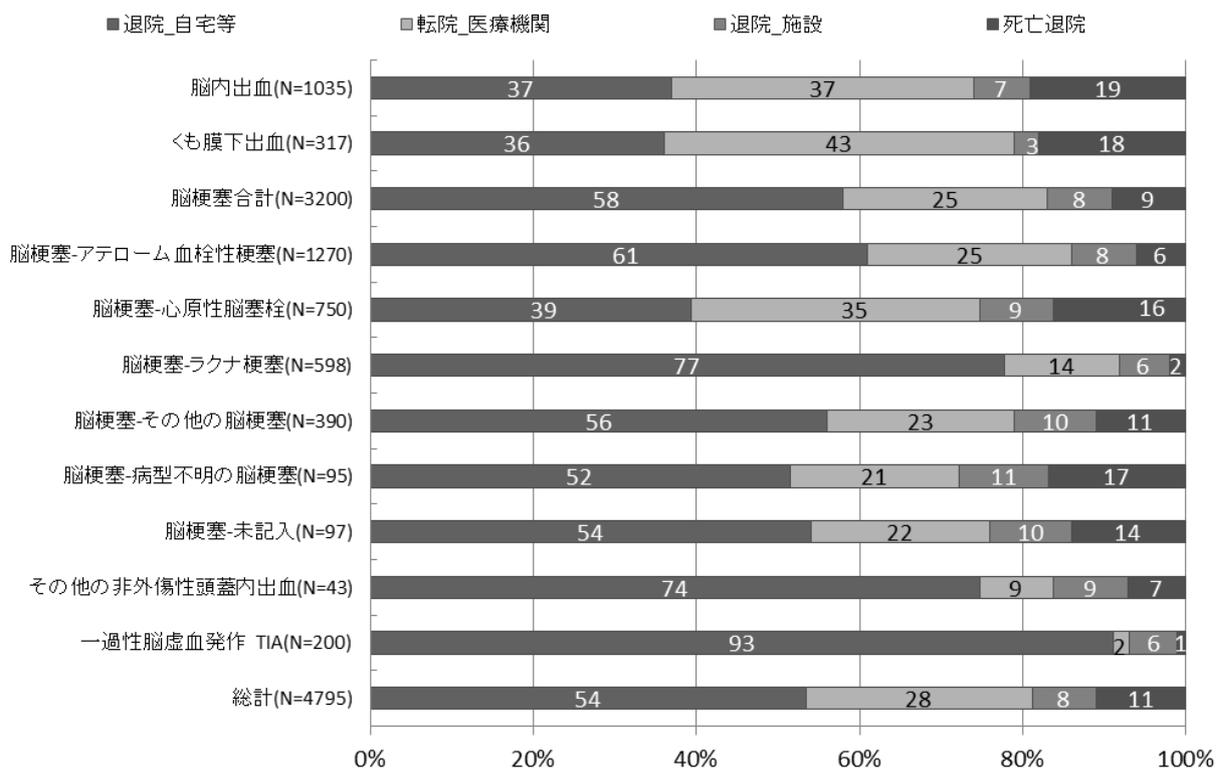


7) 退院後の患者転帰

退院後の患者転帰の状況は、自宅等への退院が全体で 53.5%を占め、次いで医療機関への転院が 27.7%であった。病型別にみると、自宅等への退院割合が高かったのは一過性脳虚血発作 TIA が 92.5%であった。死亡退院は全体で 11.2%あり、病型別では、脳内出血が 19.1%、くも膜下出血が 18.0%の順に高く、脳梗塞合計*は 8.7%であった。

*アテローム血栓性梗塞、心原性脳塞栓、ラクナ梗塞、その他の脳梗塞、病型不明の脳梗塞、未記入の合計

図28 退院後の患者転帰(病型別)

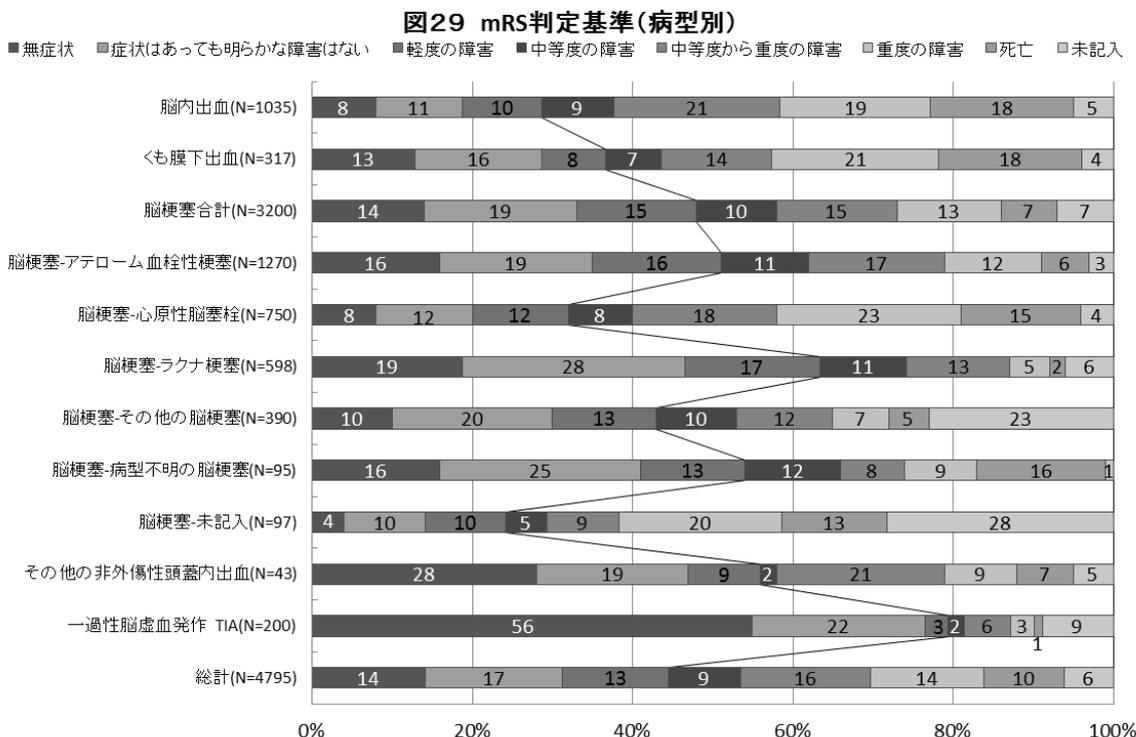


8) mRS(modified ranking-scale)判定基準

(1) 病型別・mRS 判定基準

mRS 判定基準を病型別にみると、無症状、症状はあっても明らかな障害がない、軽度の障害がある合計の割合は、脳出血は 28.0%、くも膜下出血 36.9%、脳梗塞合計*は 47.6%、一過性脳虚血発作 TIA は 80.5%であった (図 29)。

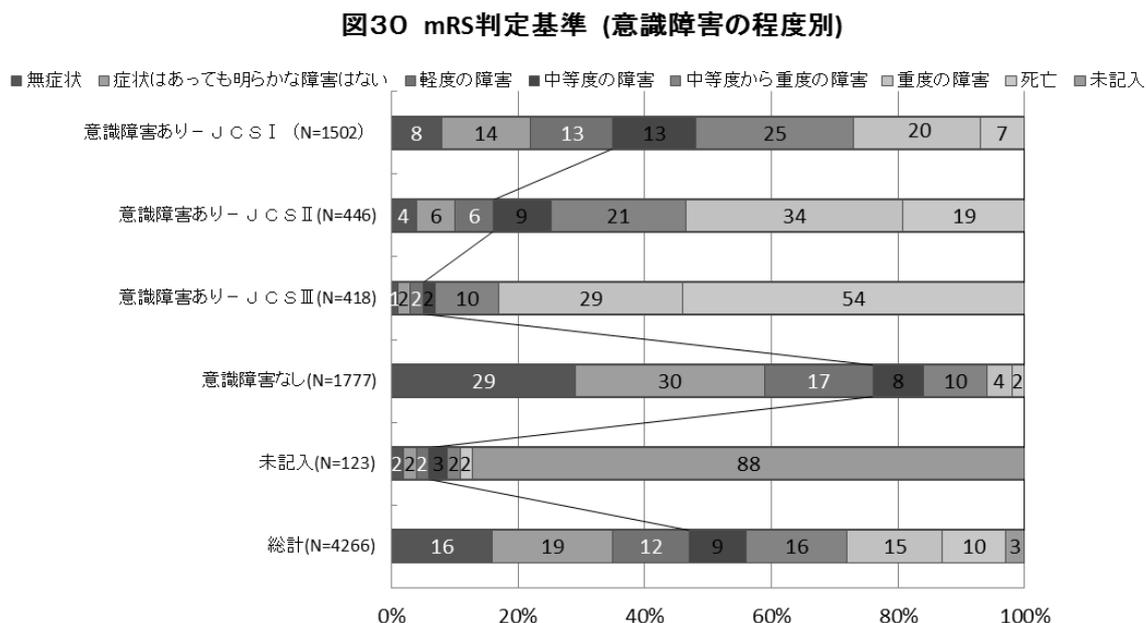
*アテローム血栓性梗塞、心原性脳塞栓、ラクナ梗塞、その他の脳梗塞、病型不明の脳梗塞、脳梗塞未記入の合計



(2) 急性期治療を担う医療機関*における mRS 判定基準 (意識障害の程度別)

急性期治療を担う医療機関*での意識障害の程度別の mRS 判定基準において、無症状、症状はあっても明らかな障害はない、及び軽度の障害の合計の割合は、意識障害なしでは 75.8%、JCS I では 35.3%、JCS II は 16.6%、重度である JCS III は 4.8%であった。(図 30)。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計



6 発症時合併症の状況

1) 性別年齢階級別にみた発症時の合併症

性別年齢階級別にみた発症時の合併症（高血圧、糖尿病、脂質異常症、心房細動、心筋梗塞の状況）は図 31-1、図 32-1、図 33-1、図 34-1、図 35-1 のとおりであった。

図31-1 発症時の合併症(高血圧あり)

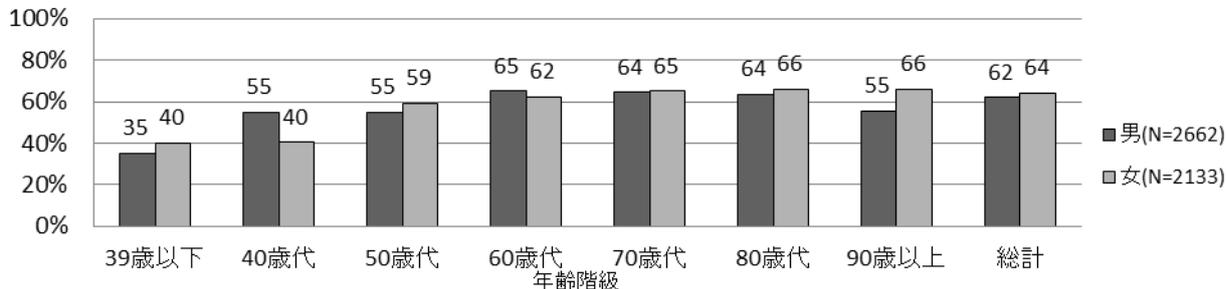


図32-1 発症時の合併症(糖尿病あり)

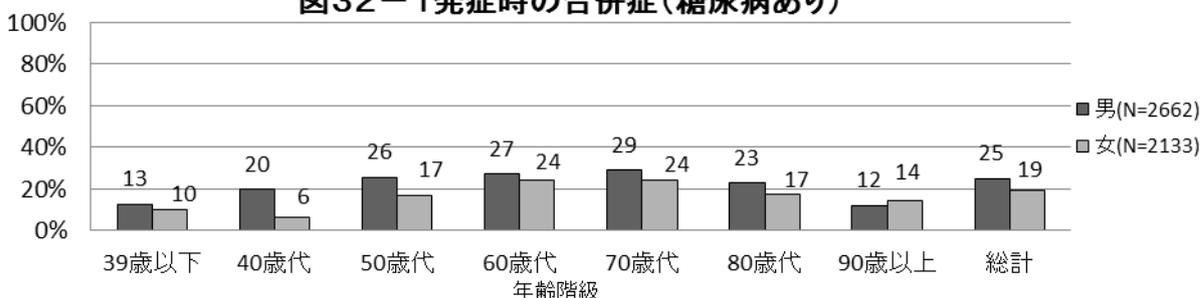


図33-1 発症時の合併症(脂質異常症あり)

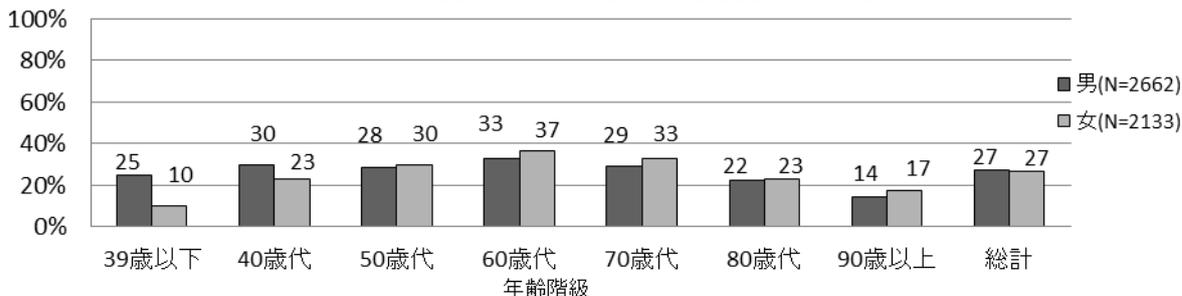


図34-1 発症時の合併症(心房細動あり)

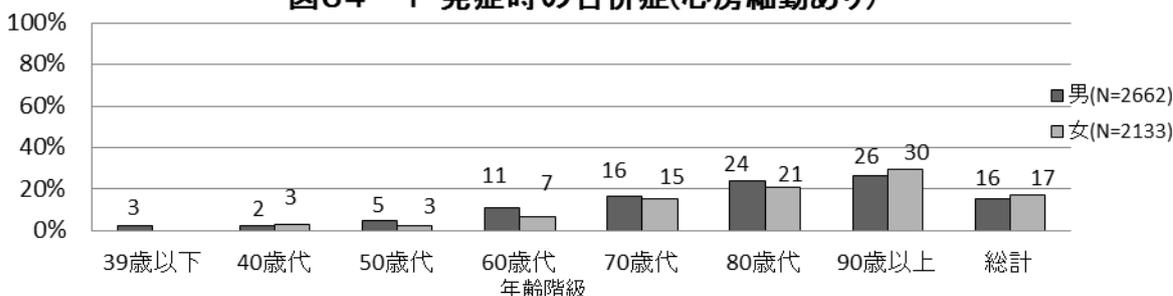
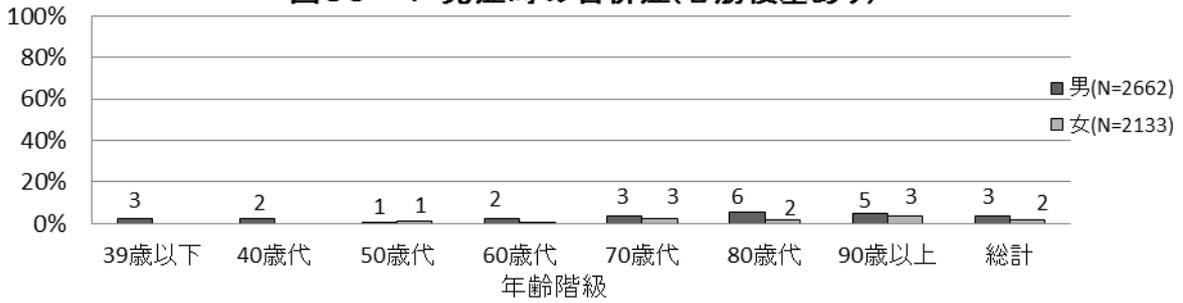


図35-1 発症時の合併症(心筋梗塞あり)



2) 治療状況の内訳にみた発症時の合併症

治療状況の内訳にみた発症時の合併症は、図 31-2、図 32-2、図 33-2、図 34-2 のとおりであった。

図31-2 発症時合併症 治療状況(高血圧)

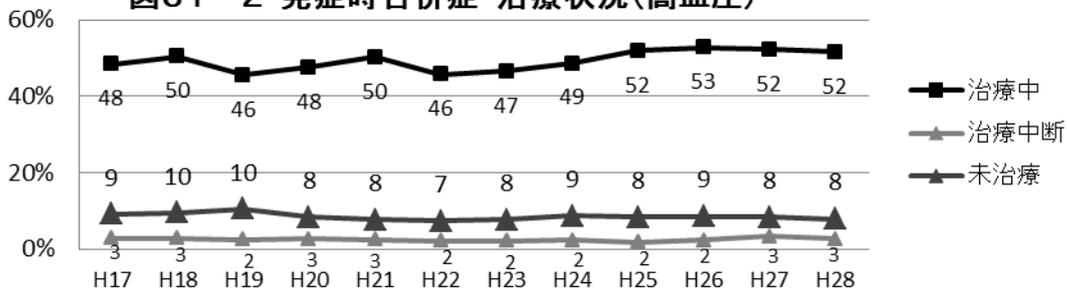


図32-2 発症時合併症 治療状況(糖尿病)

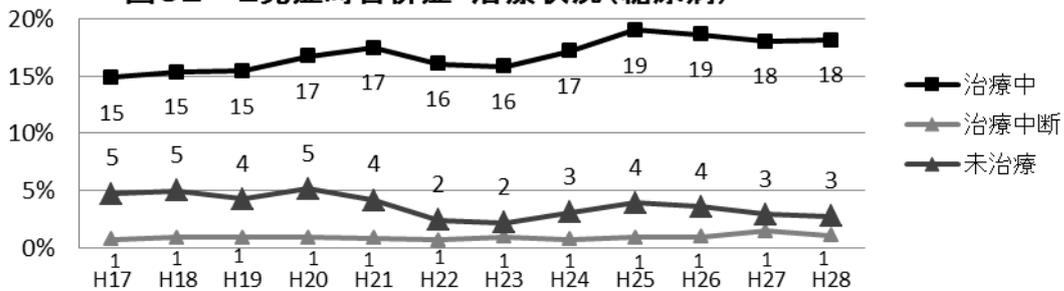


図33-2 発症時合併症 治療状況(脂質異常症)

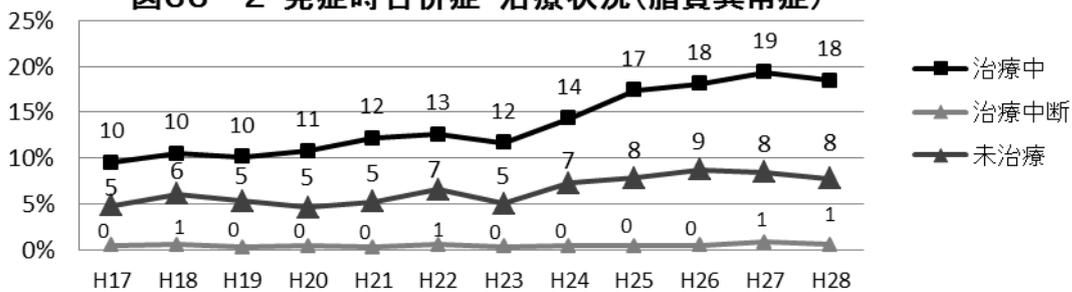


図34-2 発症時合併症 治療状況(心房細動)

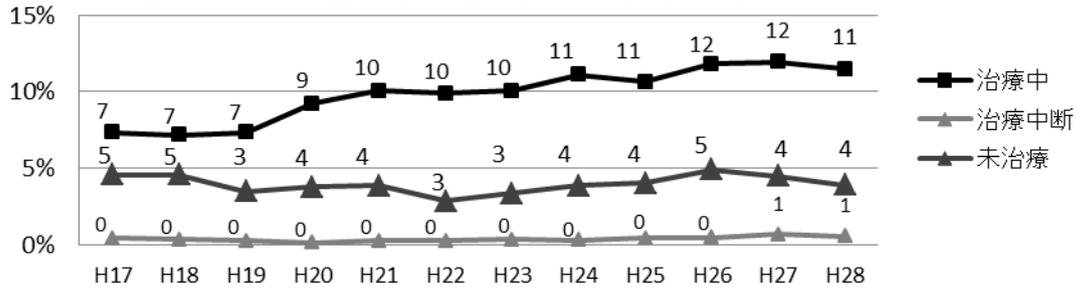
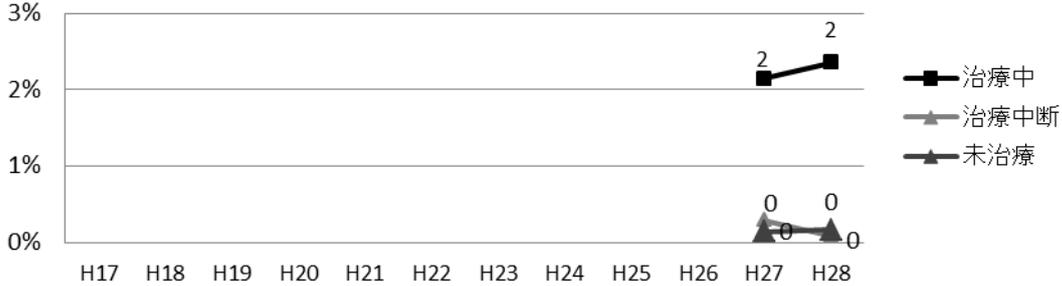


図35-2 発症時合併症 治療状況(心筋梗塞)



(心筋梗塞は H27 から集計追加となった)

7 生活習慣等の状況

1) 喫煙習慣

性別年齢階級別にみた発症時の喫煙習慣の状況は、発症まで喫煙ありが男で 29.3%、女で 7.2%、過去に喫煙ありが男で 29.6%、女で 5.4%であった (図 36・37)。

病型別にみた喫煙習慣の状況は、発症まで喫煙ありがアテローム血栓性梗塞で 24.6%と最も多かった (図 38)。

急性期治療を担う医療機関*における意識障害の程度別は、意識障害なしで発症時まで喫煙習慣ありが 25.0%と最も多かった (図 39)。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計

図36 喫煙の状況(発症まで喫煙あり)

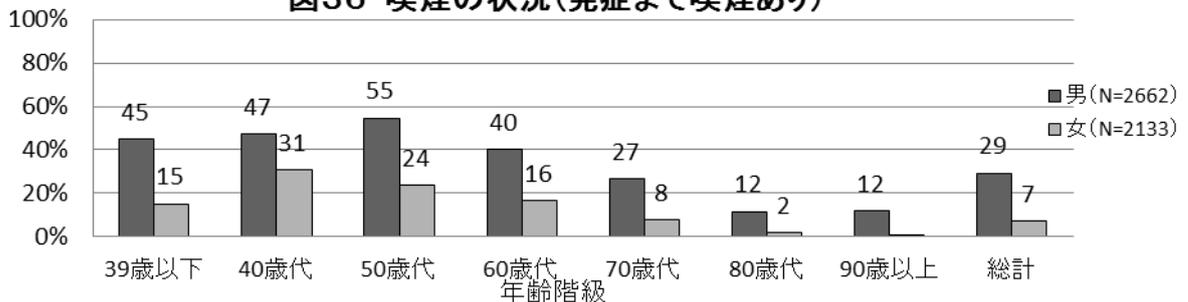


図37 喫煙の状況(過去に喫煙あり)

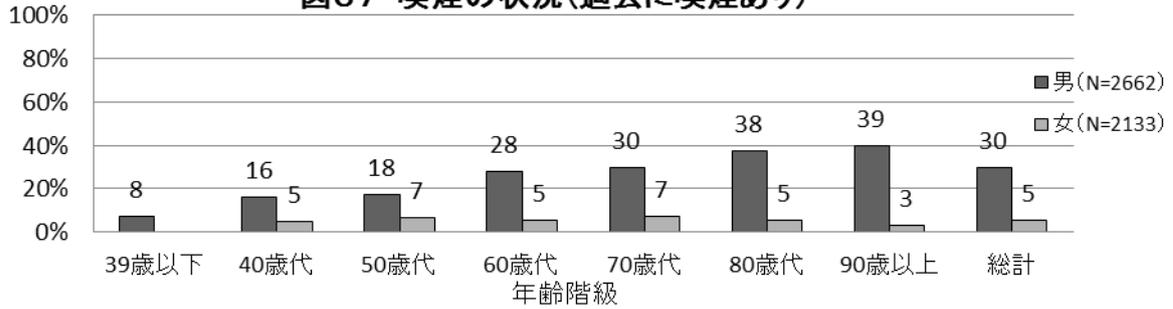


図38 発症時の喫煙習慣(病型別)

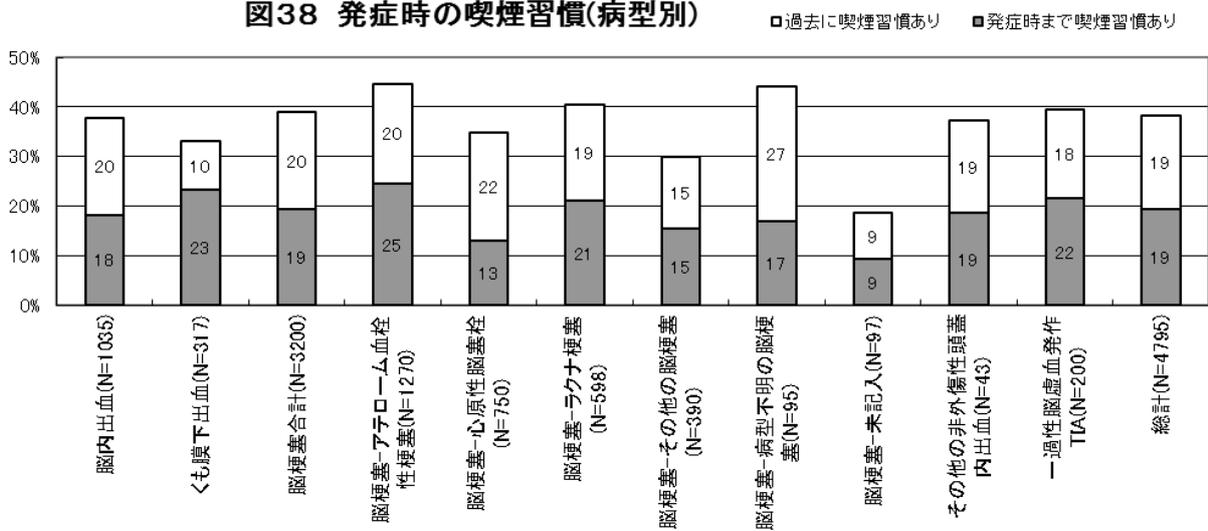
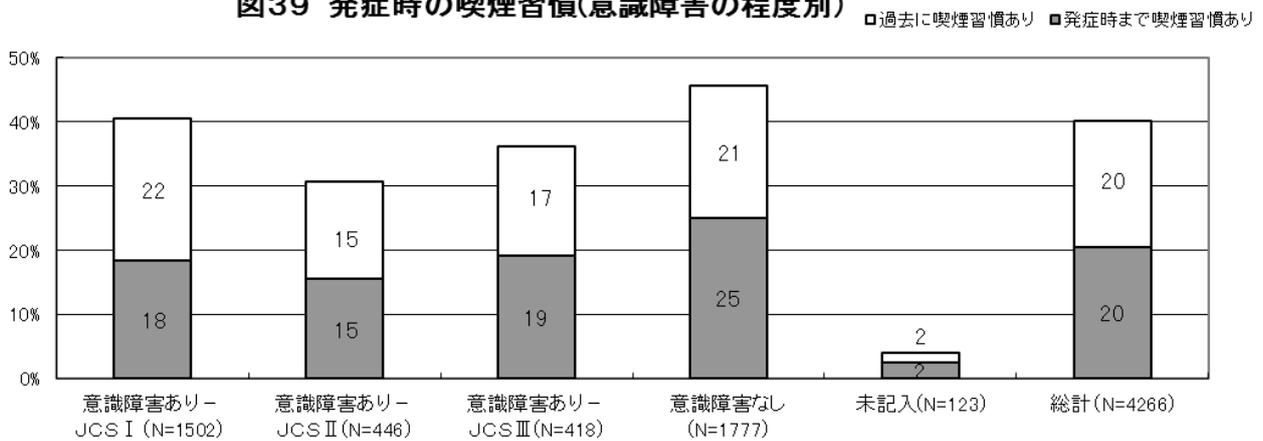


図39 発症時の喫煙習慣(意識障害の程度別)



2) 飲酒習慣

性別年齢階級別にみた発症時の飲酒習慣の状況は、毎日飲酒ありが男で33.4%、女で5.6%、機会飲酒ありは男で14.8%、女で8.9%であった(図40・41)。病型別では毎日飲酒ありが一過性脳虚血発作TIAで23.0%とやや多かった(図42)。

急性期治療を担う医療機関*における意識障害の程度別では、毎日飲酒ありが意識障害なしで26.0%と多かった(図43)。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計

図40 飲酒の状況(毎日飲酒あり)

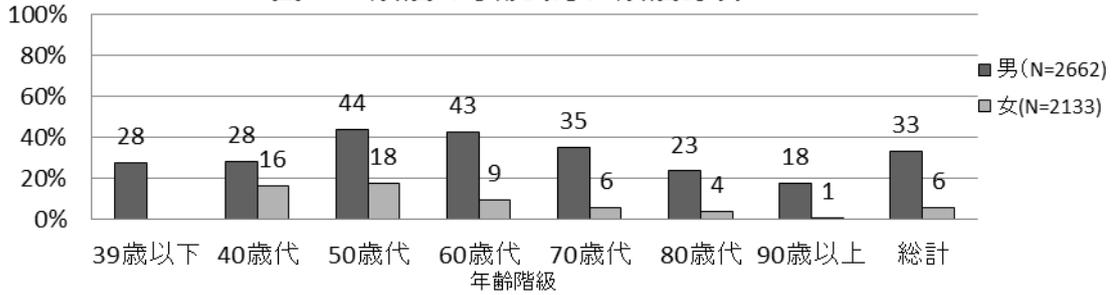


図41 飲酒の状況(機会飲酒あり)

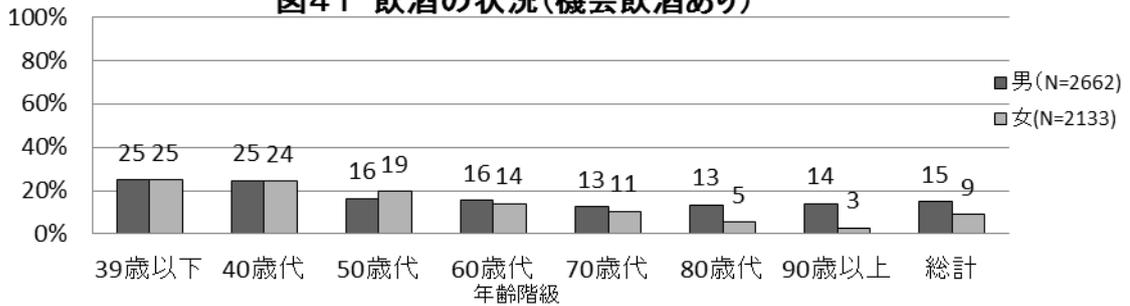


図42 発症時の飲酒習慣(病型別)

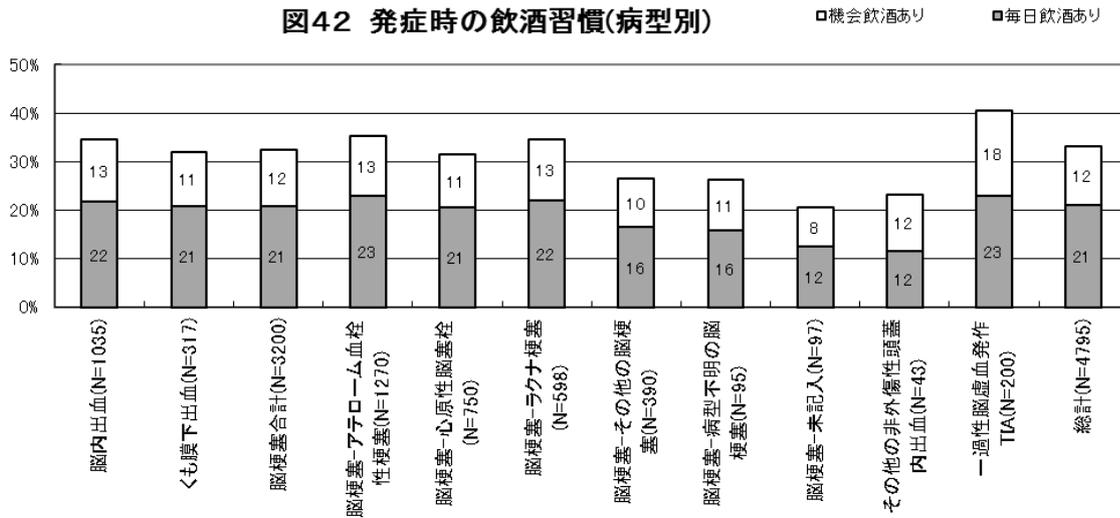
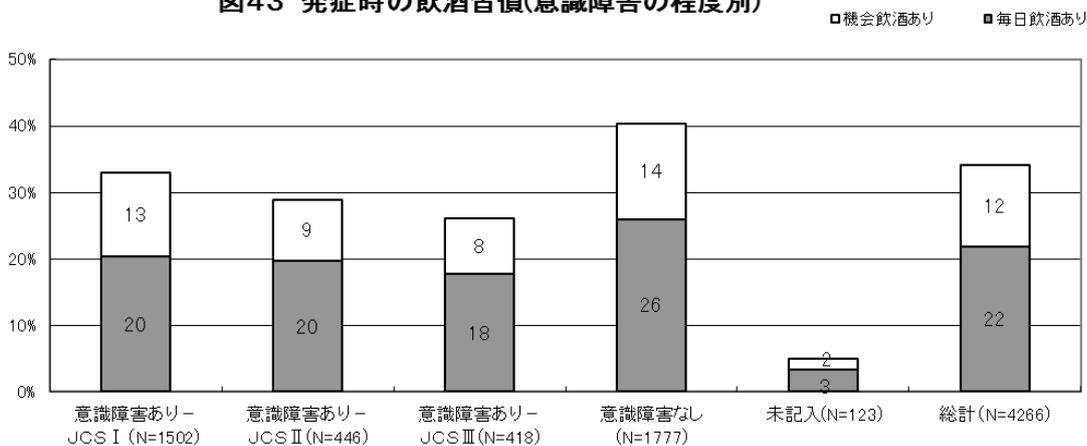


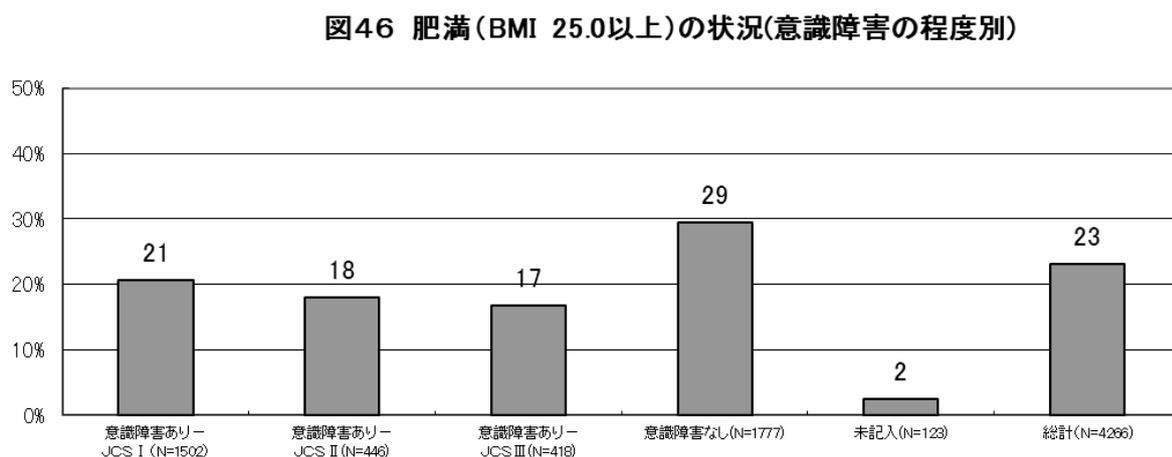
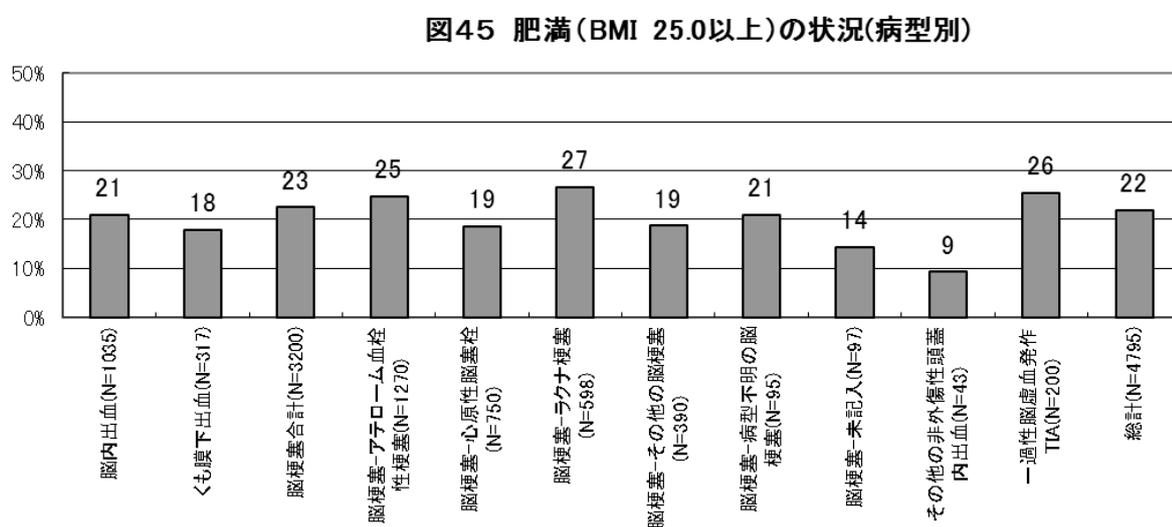
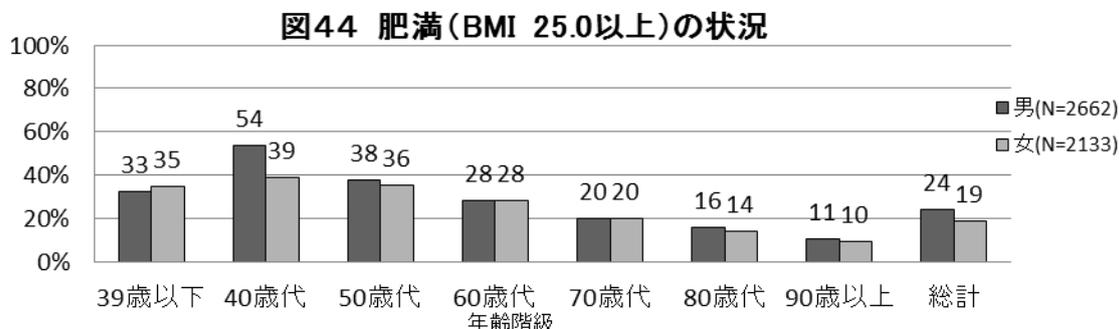
図43 発症時の飲酒習慣(意識障害の程度別)



3) 肥満

性別年齢階級別にみた肥満 (BMI 25.0 以上) の状況は、男で 24.2%、女で 19.0%であった (図 44)。病型別にみた肥満の状況は、ラクナ梗塞で 26.6%とやや多かった (図 45)。急性期治療を担う医療機関*における意識障害の程度別では、BMI 25.0 以上の割合は、意識障害なしが 29.5%と最も多かった (図 46)。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計



8 急性期治療を担う医療機関*における脳卒中啓発プロジェクトの状況

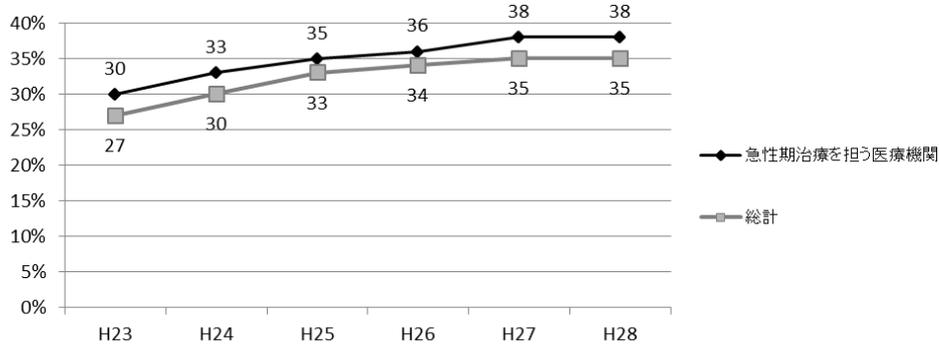
本県では、平成 24 年より脳卒中啓発プロジェクト事業として積極的な脳卒中啓発活動を実施している。ここでは、平成 23 年から平成 28 年までのプロジェクト実施前後の状況について報告する。

*「急性期医療機関」と「急性期及び回復期医療機関」の合計

(1)機能別医療機関別3時間以内受診の状況

急性期治療を担う医療機関では、平成28年は37.5%であり、平成23年と比較すると7.4ptの増加がみられた。また、県全体では、平成28年は34.6%であり、平成23年と比較すると7.2ptの増加がみられた(図47)。

図47 機能別医療機関別3時間以内受診の状況

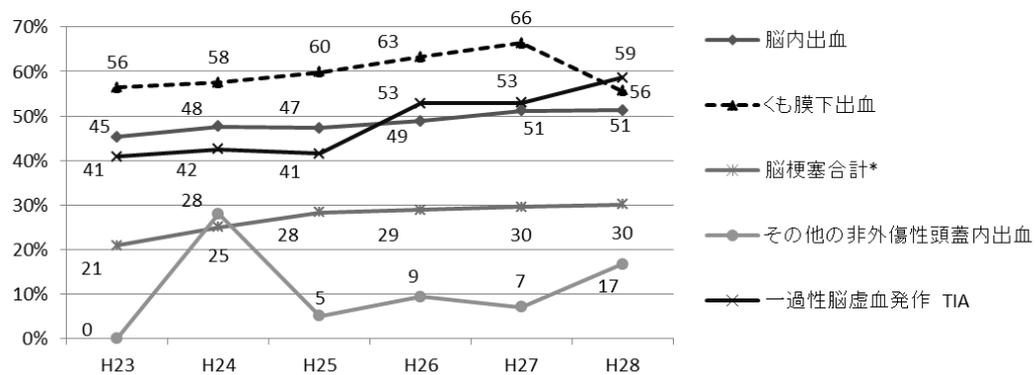


(2)病型別3時間以内受診の状況

くも膜下出血では、平成28年は55.6%で、平成27年と比較すると10.7pt減少した。一過性脳虚血発作TIAでは、平成28年は58.6%で、平成23年と比較すると17.7pt増加した。

*アテローム血栓性梗塞、心原性脳塞栓、ラクナ梗塞、その他の脳梗塞、病型不明の脳梗塞、未記入の合計

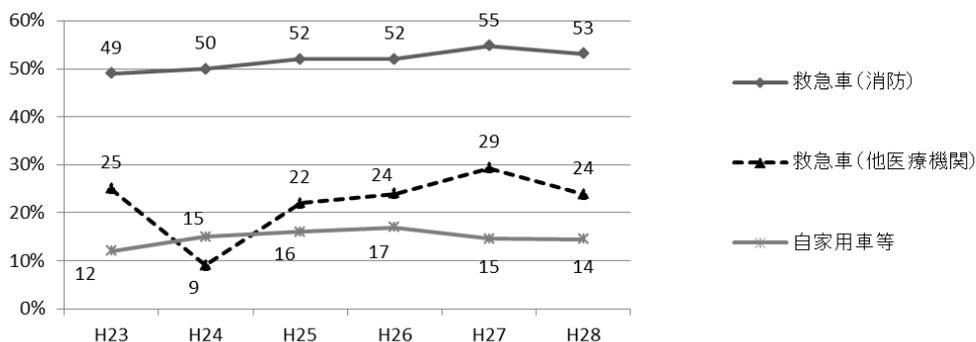
図48 病型別3時間以内受診の状況



(3)受診の手段別3時間以内受診の状況

救急車(消防)が、平成28年は53.1%であり、平成27年と比較すると1.7pt減少した。

図49 受診の手段別3時間以内受診の状況



<参考>発症月別診断病型別登録件数

ここでは脳卒中登録票（様式1号）に基づき情報提供された脳卒中患者情報のうち、平成28年1月1日から平成28年12月31日までに医療機関へ入院した4,707件について扱う。（平成29年7月末受付分まで）

*アテローム血栓性梗塞、心原性脳塞栓、ラクナ梗塞、その他の脳梗塞、病型不明の脳梗塞、未記入の合計

図50-1 平成28年 発症月あたり診断病型別登録件数

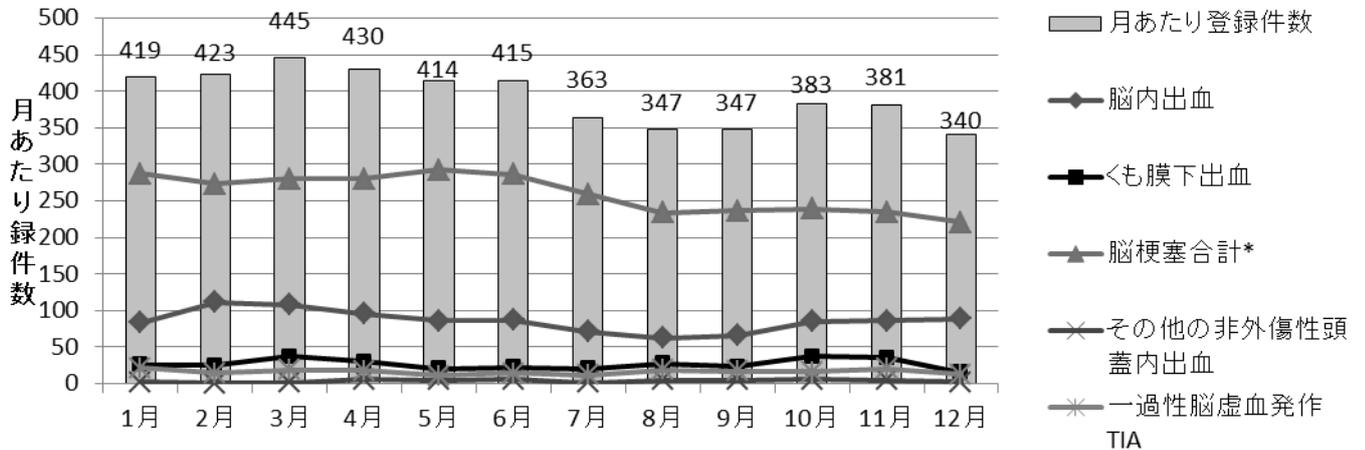


図50-2 平成28年 発症月別診断病型別1日あたり登録件数

